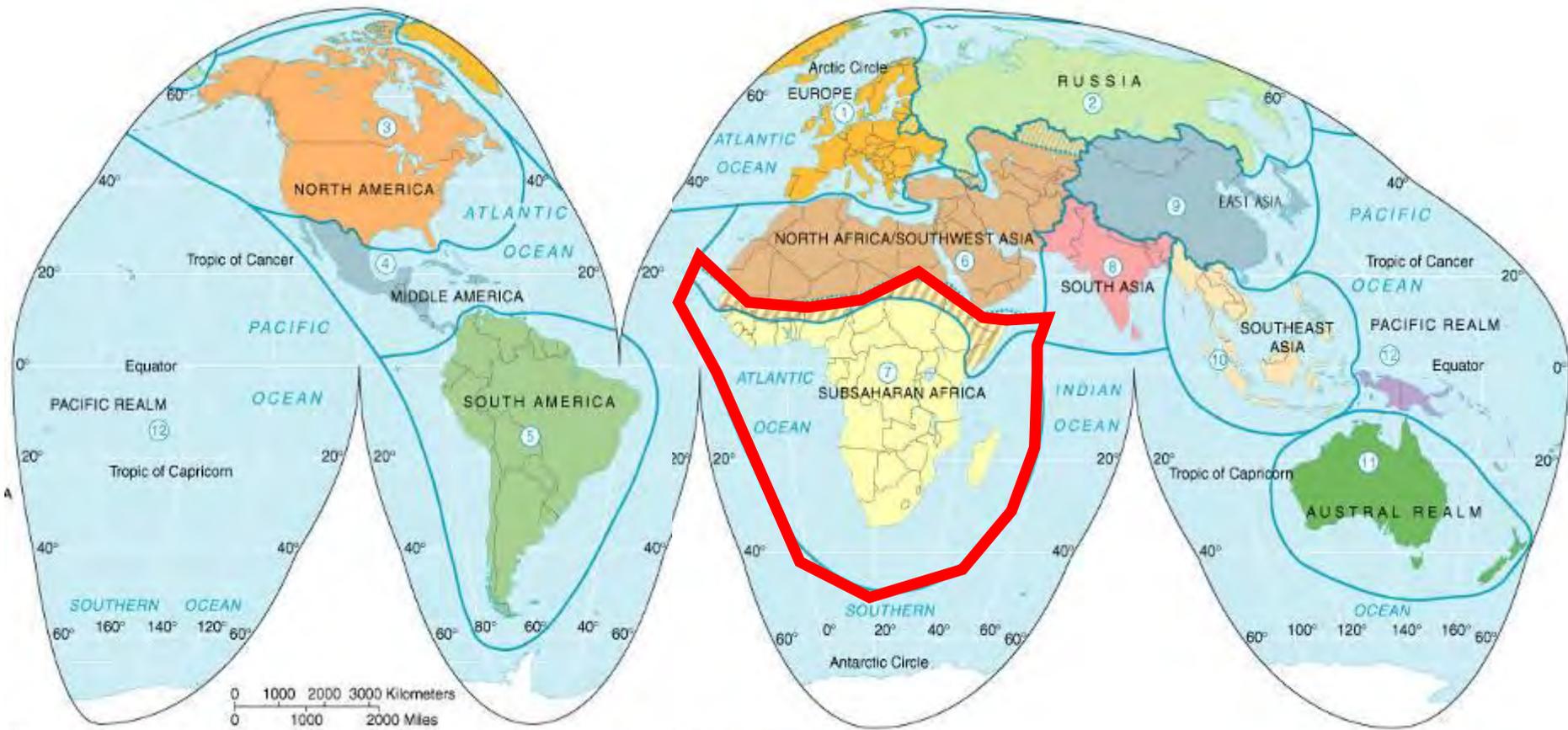


アフリカ





Inc.

Copyright 2000 by John Wiley & Sons, Inc.

# 1 大きさ・位置

(1)面積約3000万キロ平方メートル・・世界第 2 位の大きさ

(2)広がり

※1位はアジア

## ①緯度

■中心は赤道 : ギニア湾～コンゴ民主共和国～  
(ヴィクトリア湖を通過)～ケニアを通過

■南北幅: 北緯35度～南緯35度(アガラス岬)

## ②経度

■中心は東経 20 度

■経度0度: ガーナの首都 アクラ を通過

アフリカ大陸の南北の長さは、(北緯35度から南緯35度までと考えると) 7770 km

本初子午線

東経20度

北緯35度

アクラ  
(ガーナ)

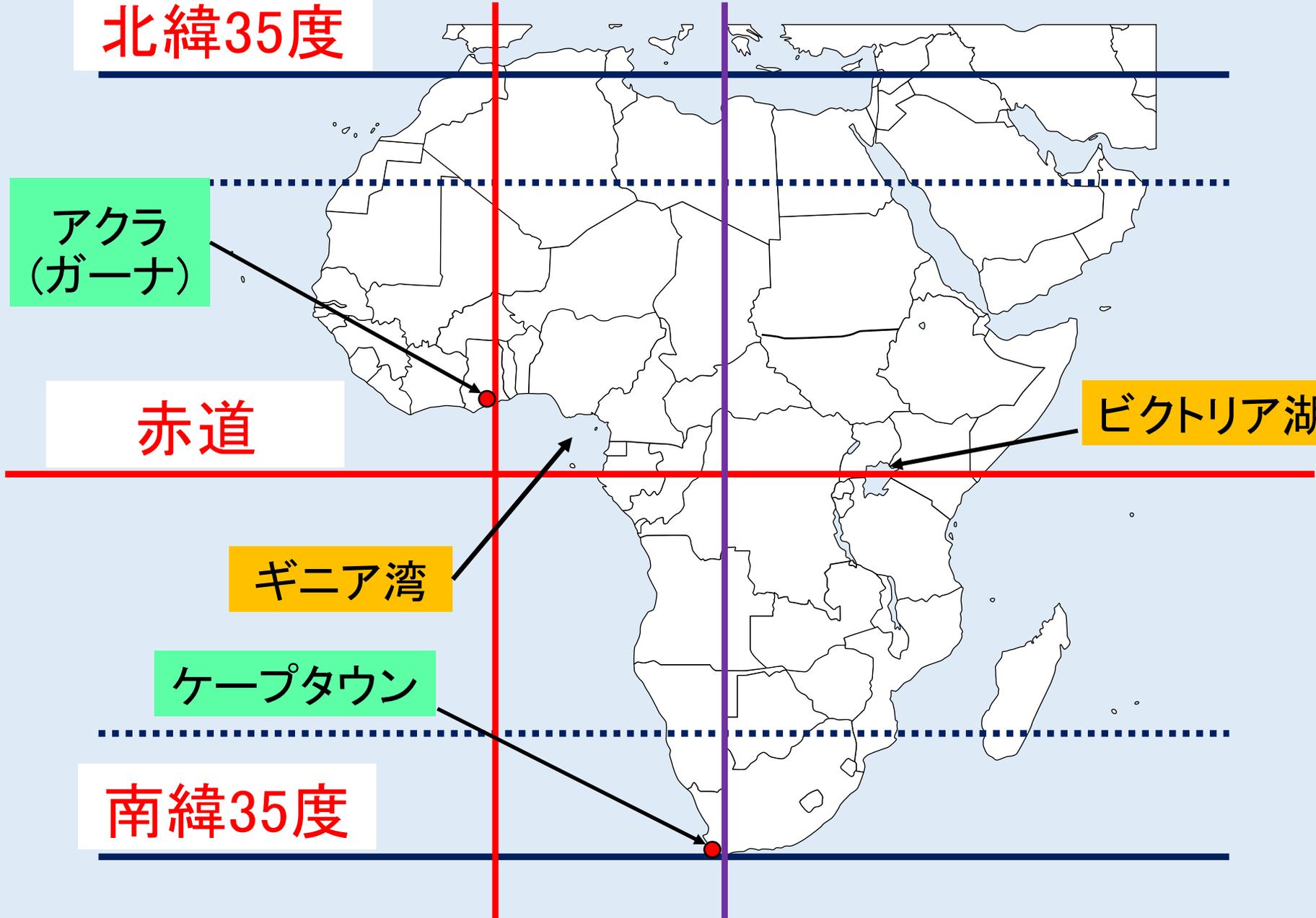
赤道

ギニア湾

ケープタウン

南緯35度

ビクトリア湖



## 2 地形

### (1) 大地形

- ① 新期造山帯…【アトラス】山脈  
(アルプス=ヒマラヤ造山帯)
- ② 古期造山帯…【ドラケンスバーグ】山脈(アフリカ大陸南端)

### ③ 安定陸塊

■ ゴンドワナ ランドの一部



## ■全体が 台地 状

→平均高度750mで全体的に低平であるが,標高200m未満の地域は少ない

→ナイル川やコンゴ川は中下流に急流や滝があり,外洋船が上流まで航行できない。

## アフリカ南部

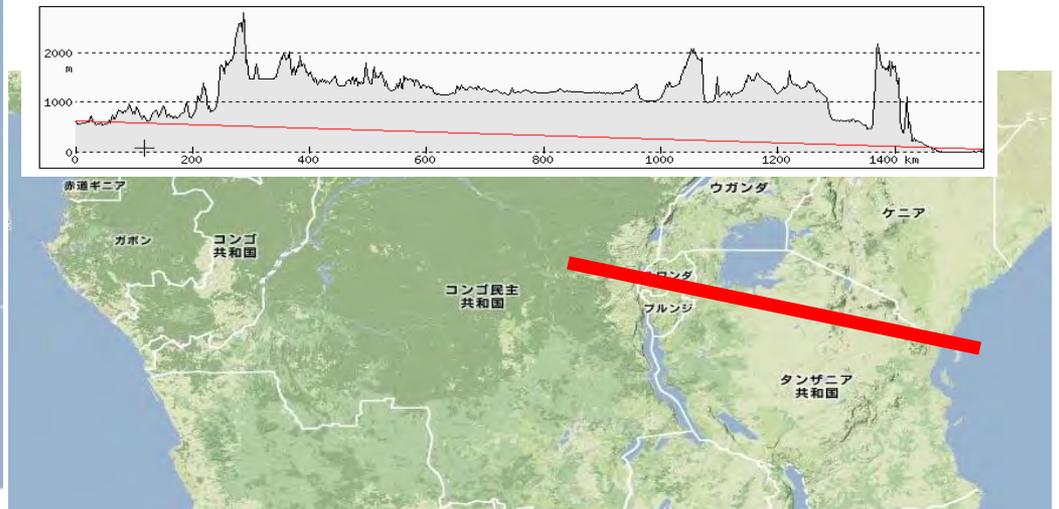


# ■ 東部に 大地溝帯 (グレートリフトバレー)

→【 **紅** 】海～ザンベジ川河口にかけて



アフリカ南東部



## (2)小地形

### ①河川

■【 **ニジェール** 】川(流域面積第2位)

■【 **ナイル** 】川(世界最長)

■【 **コンゴ** 】川





円弧状三角州

## ②断層湖

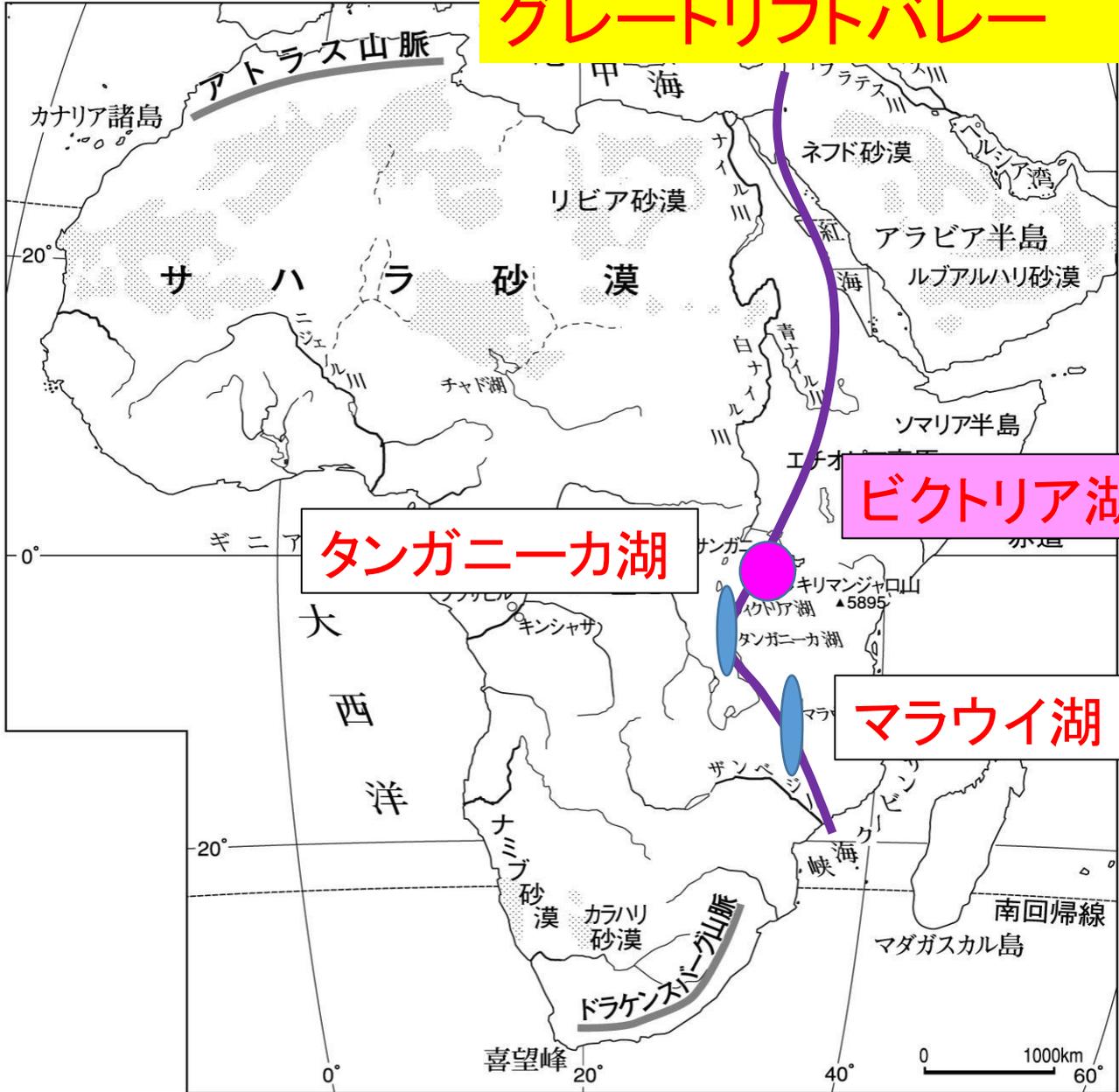
■グレートリフトバレーに沿ったところに発達

・(【**タンガニーカ**】湖(最大水深1470m,世界第2位))

・マラウイ湖

※**ヴィクトリア湖**:面積第3位。断層湖ではない。  
地殻の隆起によってできた凹みに水がたまったもの。

# グレートリフトバレー



タンガニーカ湖

ビクトリア湖

マラウイ湖

### ③火山

## ■【キリマンジャロ】山(5895m)

・赤道に近い南半球にあり **氷河** があることで有名

→温暖化で消滅の危機,麓はAw気候)



A landscape photograph showing a snow-capped mountain peak in the background under a clear blue sky. In the foreground, there is a savanna with several acacia trees and dry grass. The text '氷河' is overlaid on the right side of the mountain, and 'サバナ' is overlaid on the bottom center of the savanna.

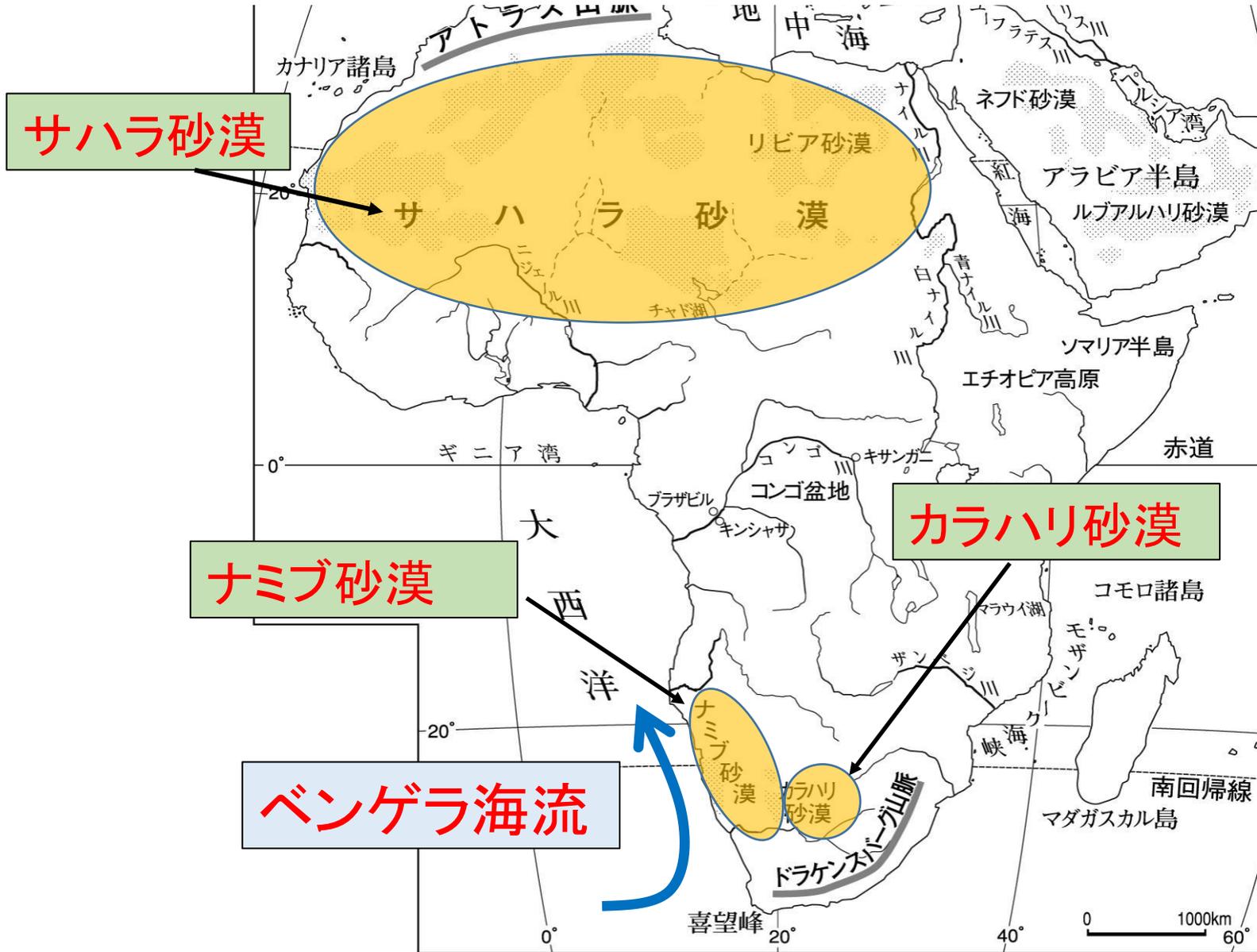
氷河

サバナ

# ④ 砂漠

■ 回帰線砂漠……サハラ砂漠,カラハリ砂漠

■ 海岸砂漠……ベンゲラ海流による【ナミブ】砂漠



サハラ砂漠

ナミブ砂漠

ベンゲラ海流

カラハリ砂漠

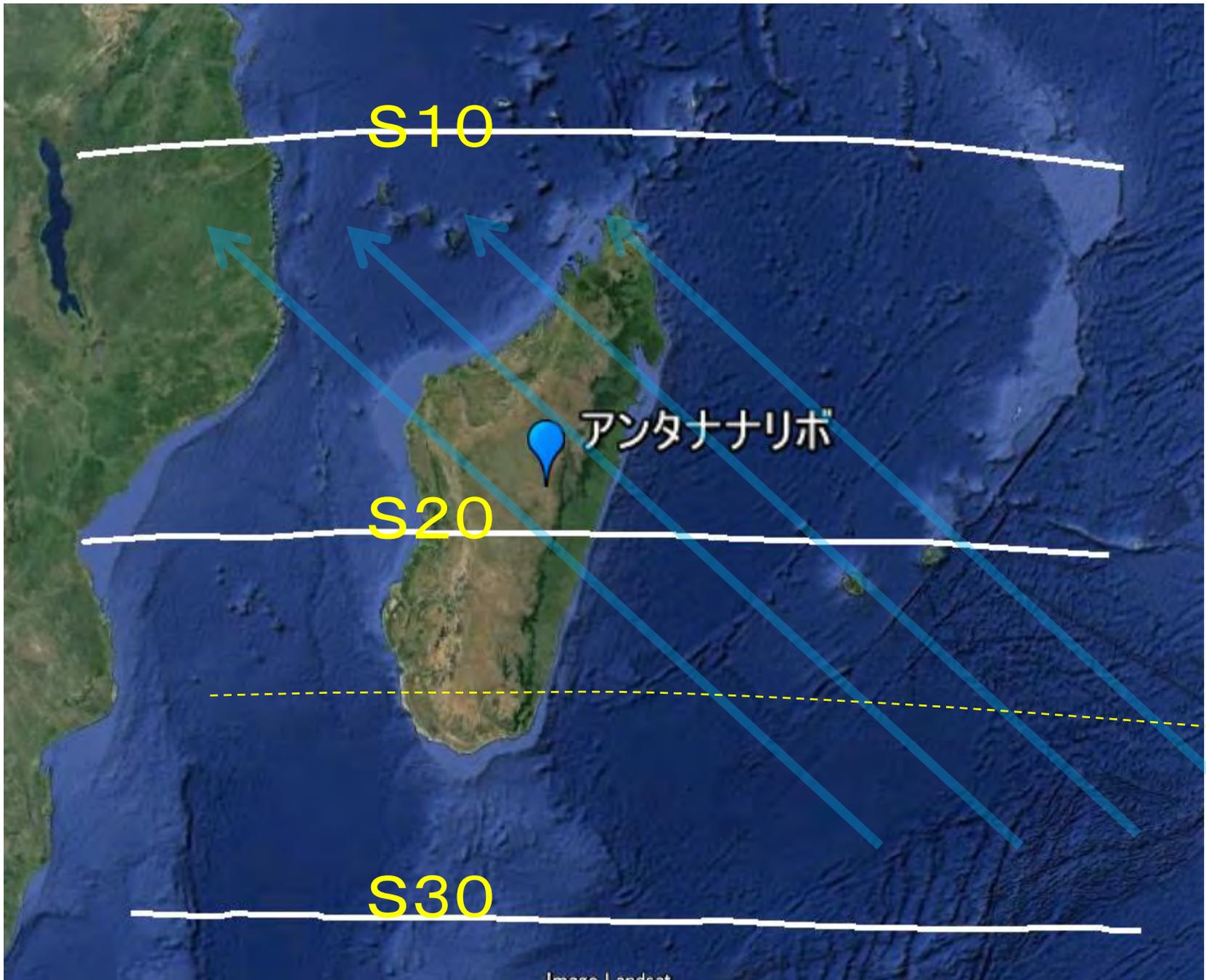
## ⑤島

■マダガスカル島・面積世界4位の島、稲作が盛ん。

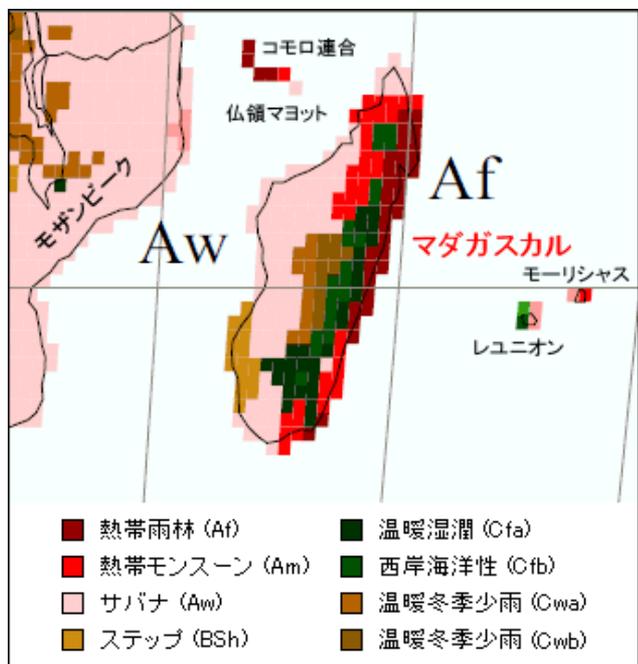
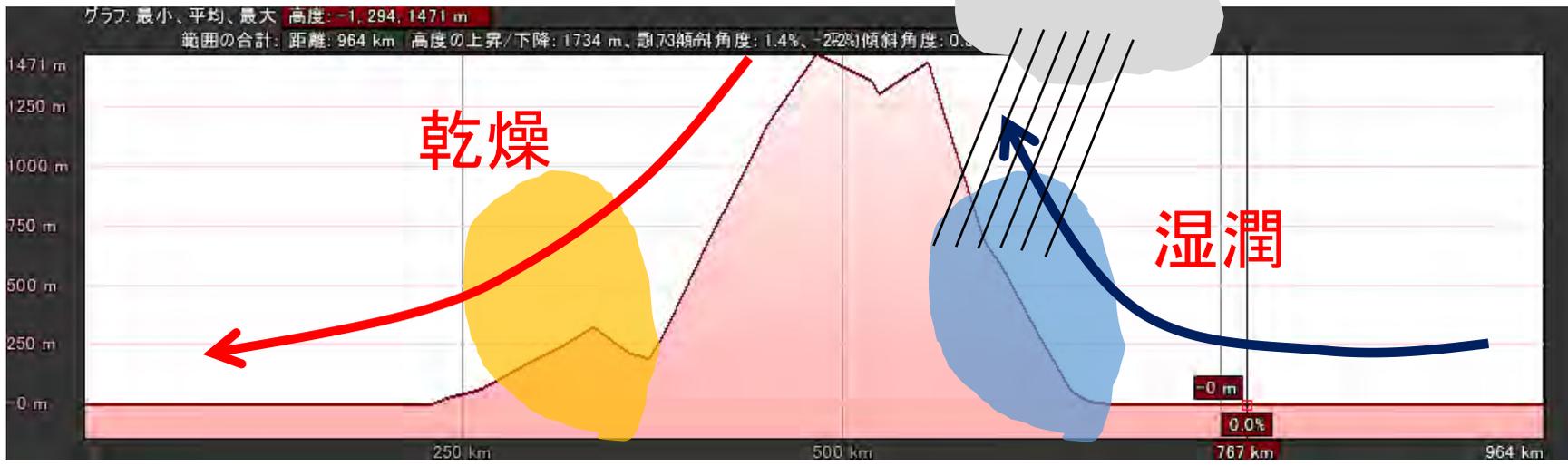
南東は南東貿易風が年中卓越のため Af

西側は風下になるため乾燥しBW





# 地形性降雨



⑥小地形のまとめ

東経20度

アトラス山脈

ビクトリア湖

北回帰線

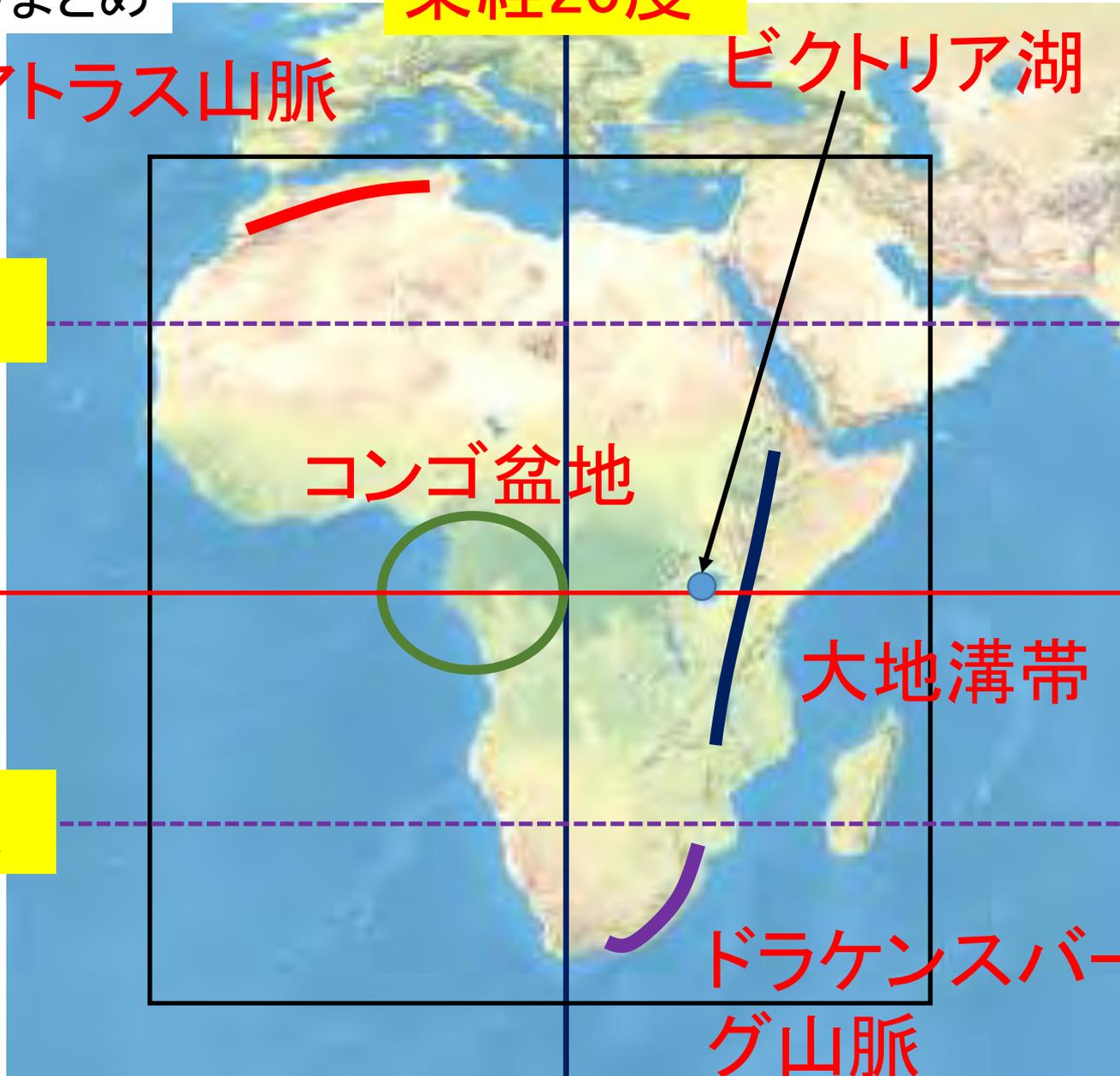
コンゴ盆地

赤道

大地溝帯

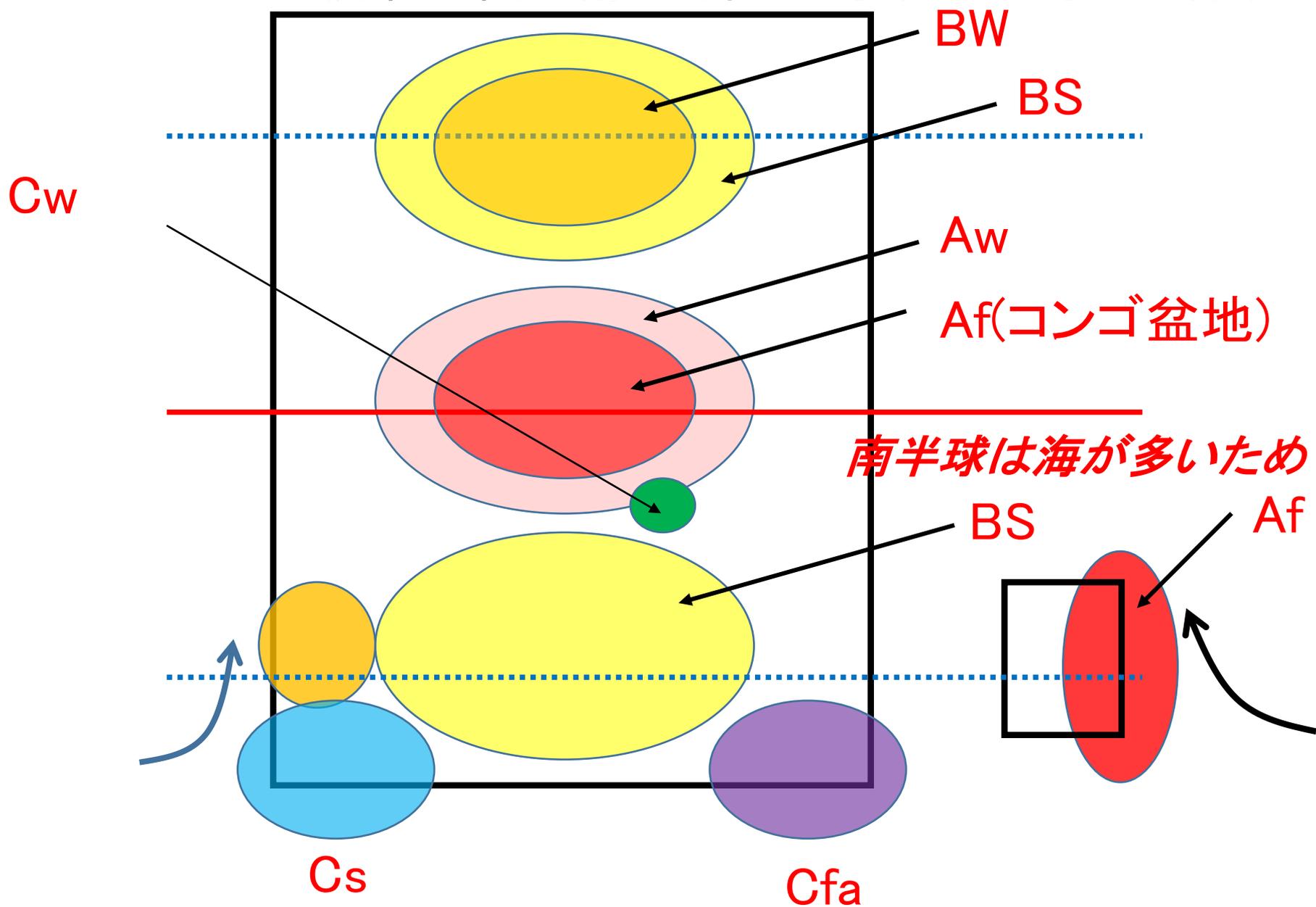
南回帰線

ドラケンスバー  
グ山脈



### 3 気候 (1)ケッペンの気候タイプ

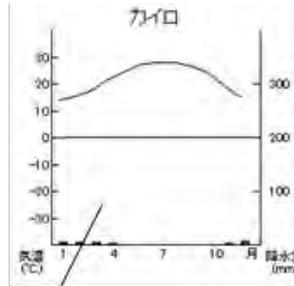
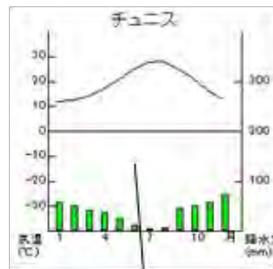
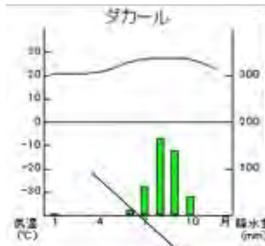
・・・気候帯が帯状(南北対称)に分布しているのが特徴



Cs

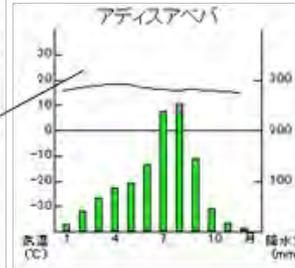
BW

BS

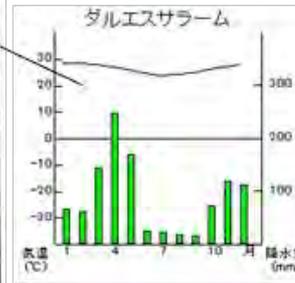
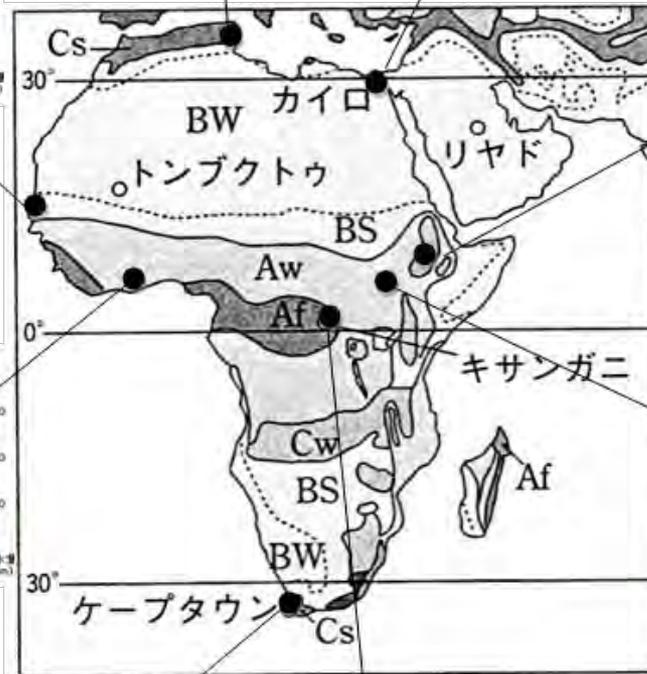
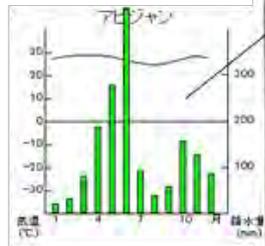


標高 2,400m

H

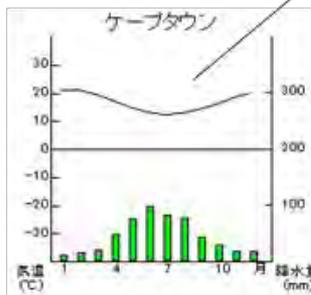


Aw

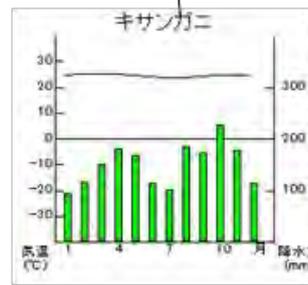


Aw

Cs



Af



# 4 人口についての特色

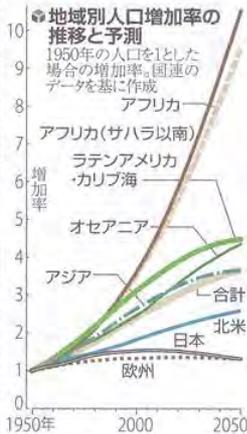
(1)戦後、**サハラ**以南のアフリカを中心に、**人口急増**が進む。

■現在も年率 **1** %の人口増加(アジアの倍)

■**貧困と飢餓、HIV**の罹患が深刻

## 世界人口あす 70億

【ニューヨーク＝柳沢亨之】国連の推計によると、世界の人口が31日、70億人に達する。人口の爆発的増加はサハラ以南のアフリカで特に顕著で、国連人口基金の「世界人口白書」は、人口増と貧困の悪循環からの脱却を求めている。白書は中東の民衆蜂起「アラブの春」の背景として、増加する若者の失業問題も指摘し、解決を促している。



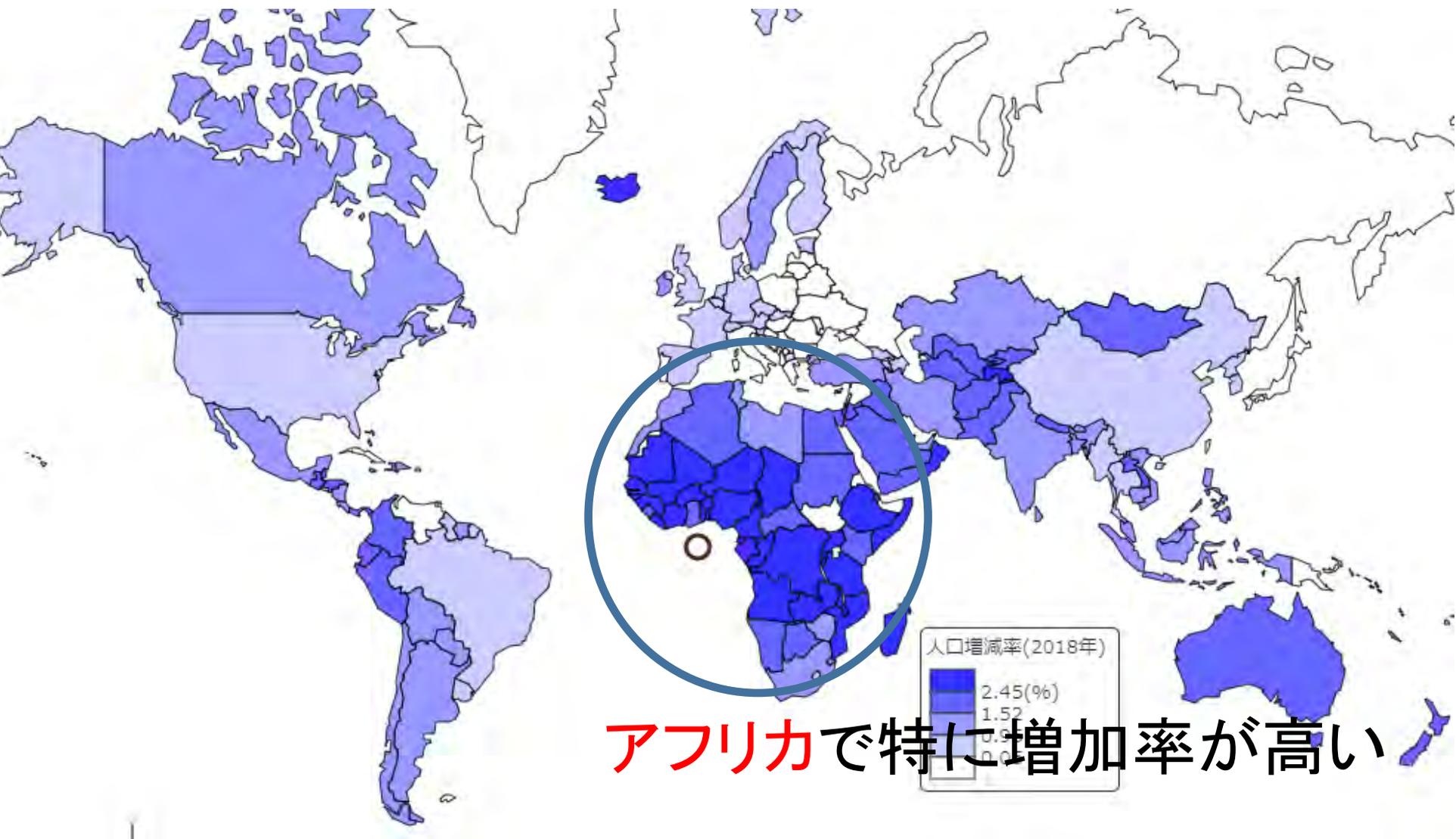
サハラ以南10年で28%増



国連によると、サハラ以南のアフリカの人口は2000年の6億6912万人から昨年は27.9%増の8億5632万人となり、50年には19億6010万人と倍以上になる見込みだ。サハラ以南では避妊普及率は08年時点で22%と遅れてお

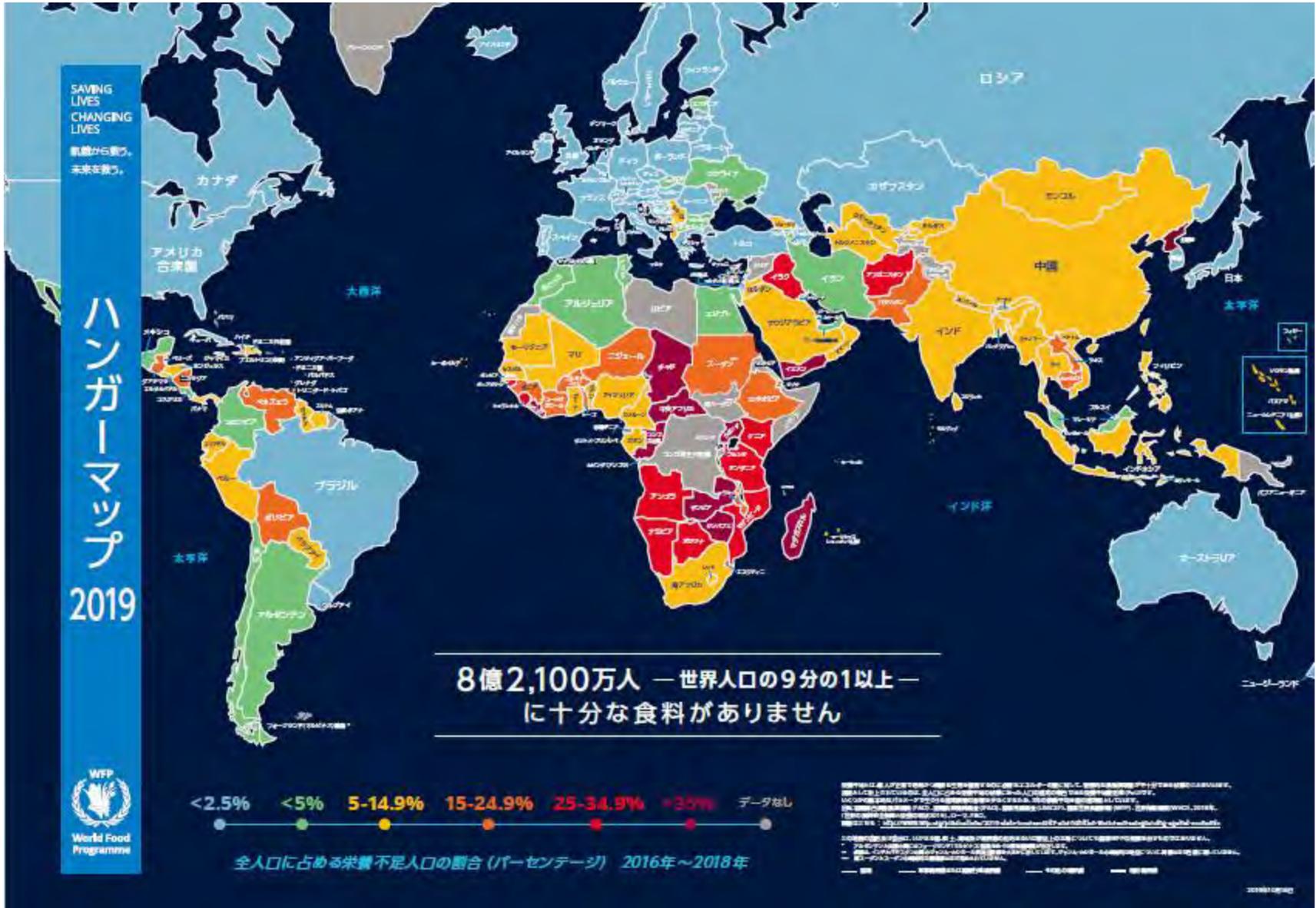
り、15年時点でも人口の約36%が日収1日未満の極貧層にとどまる見通しだ。ただ、白書は人口70億人を「大きな機会」とも評価している。労働力人口の増加を通じて途上国の経済成長を生む可能性があるためだ。人口配当と呼ばれる発想で、中国やインドの急成長を導いた要因とされる。しかし、それも雇用確保が大前提だ。白書は「アラブの春」が起きた理由として、アラブ地域で23.4%に上る深刻な若年失業率を挙げ、雇用政策の改善を求めている。

# 現在の国別人口増加率

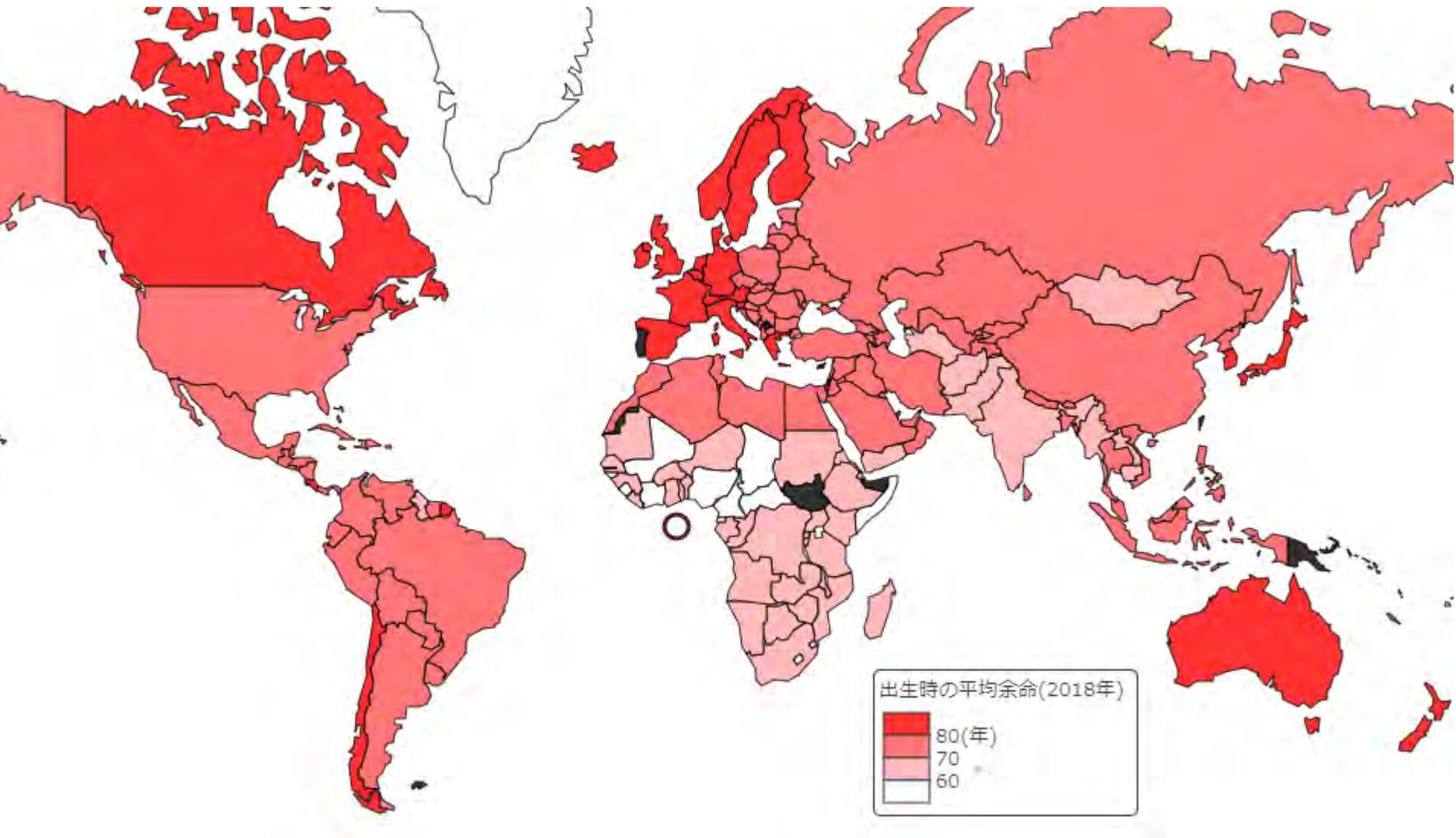


アフリカで特に増加率が高い

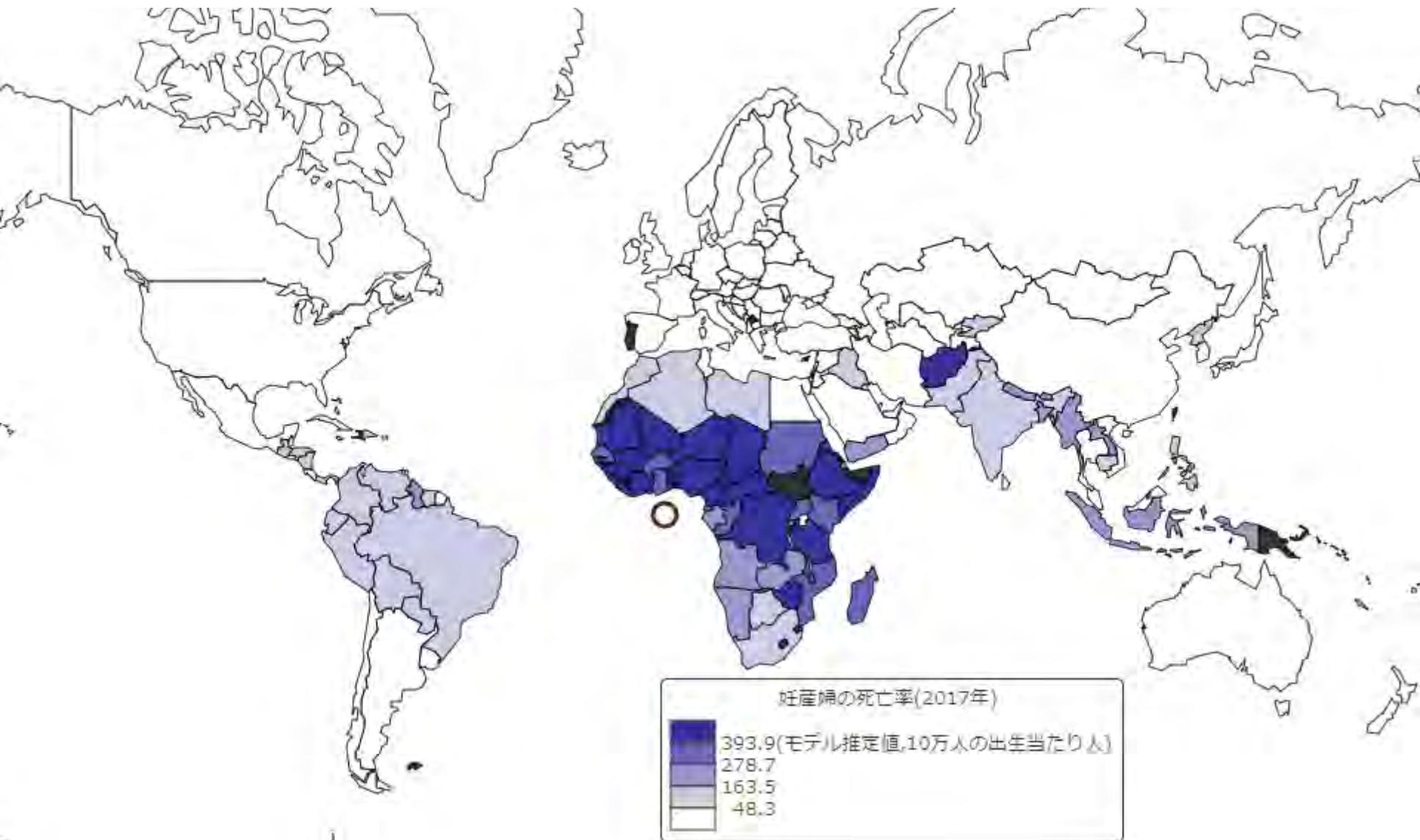
# 栄養不足人口の割合 ～WFP2019年版ハンガーマップ～



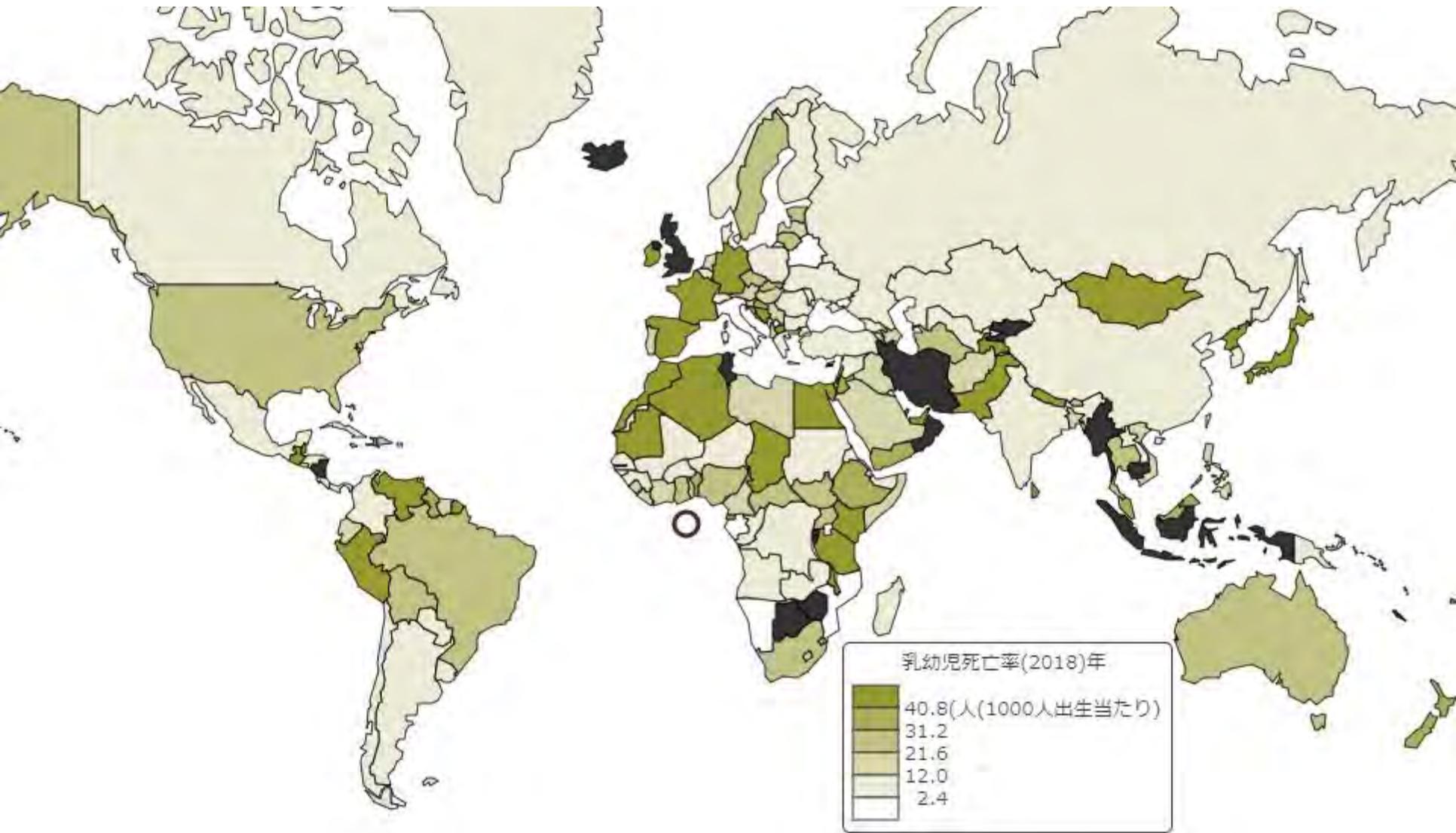
# 出生時の平均余命(2018年)



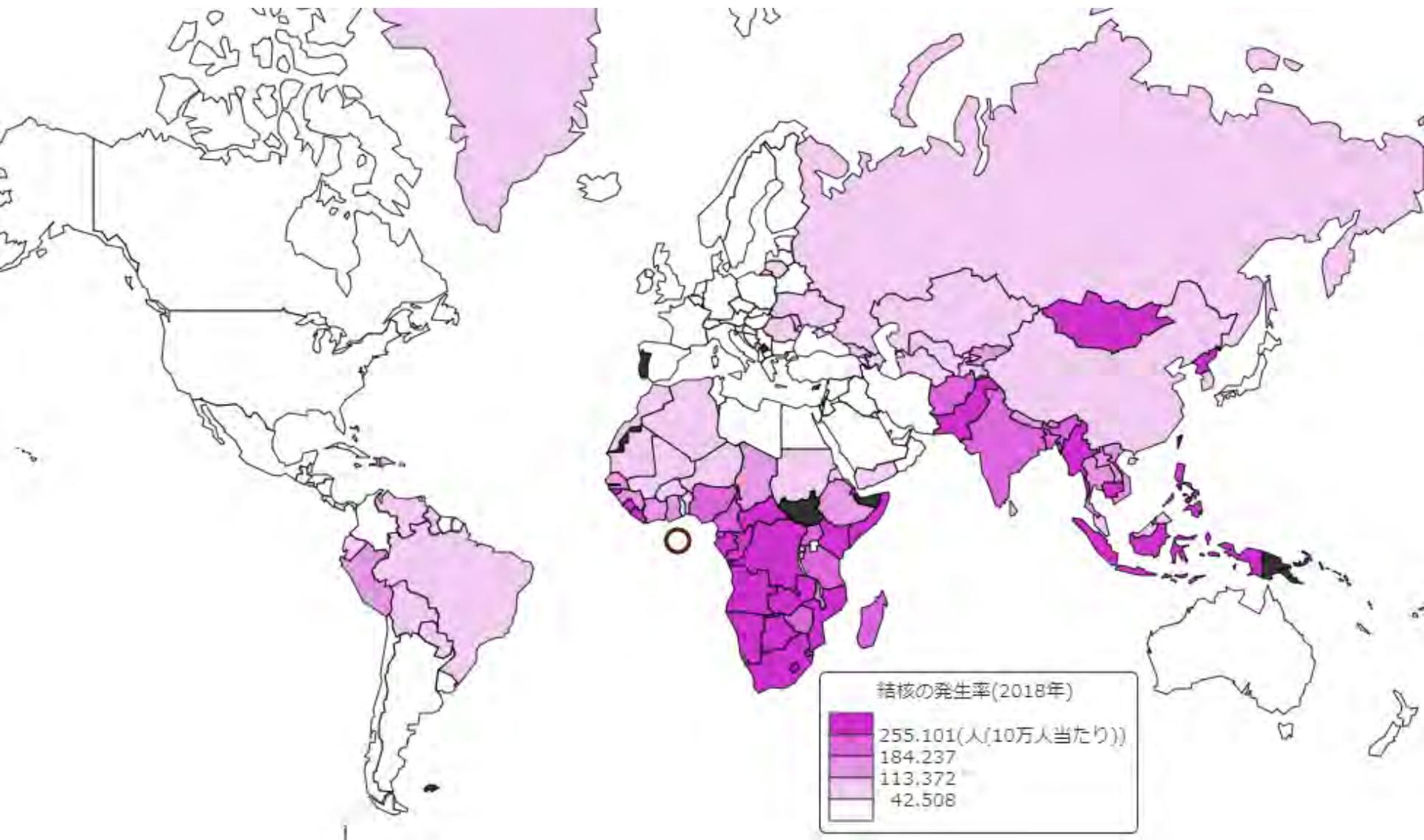
# 妊産婦の死亡率(2017年)



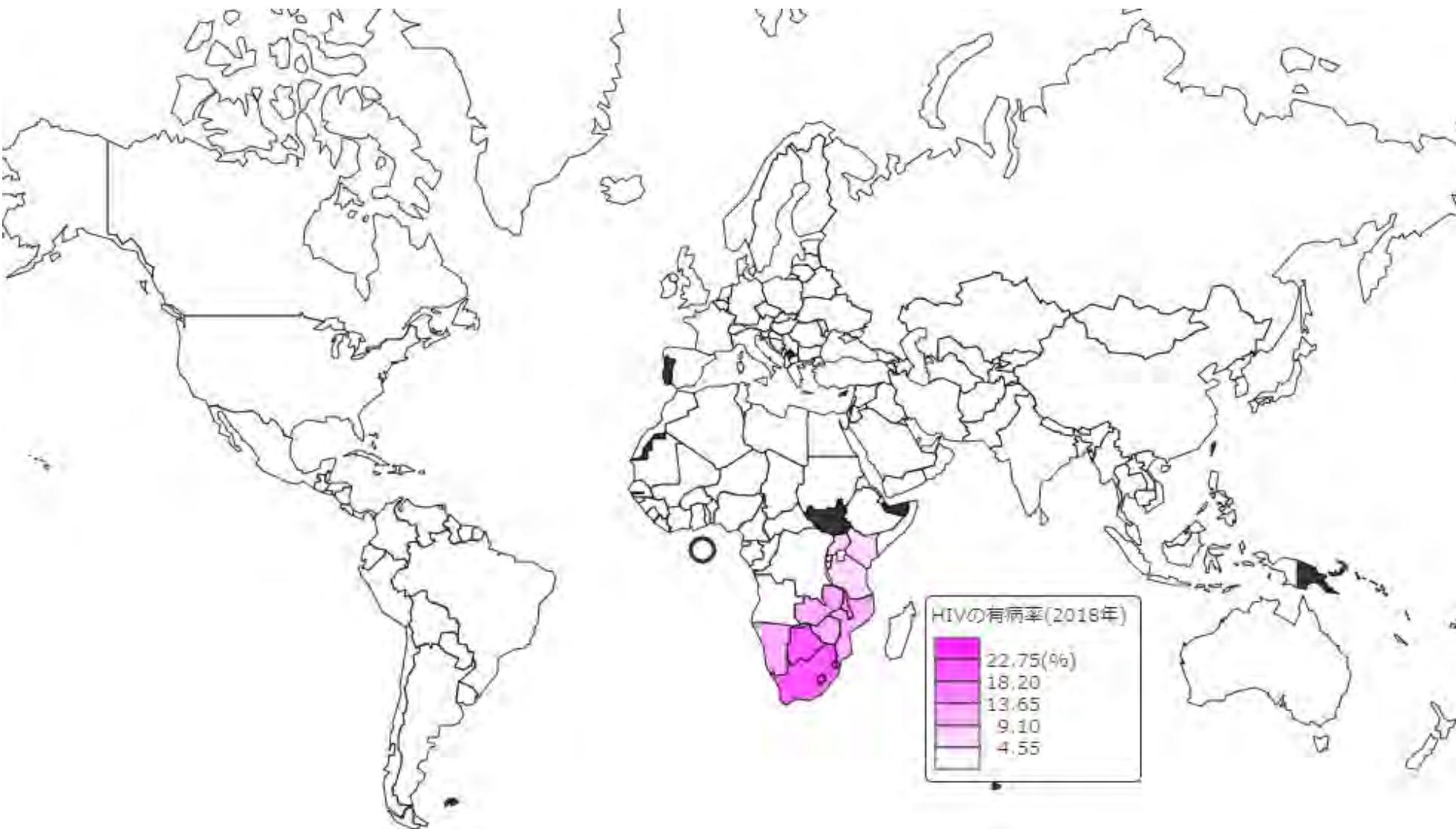
# 5歳未満の乳幼児死亡率(2018年)



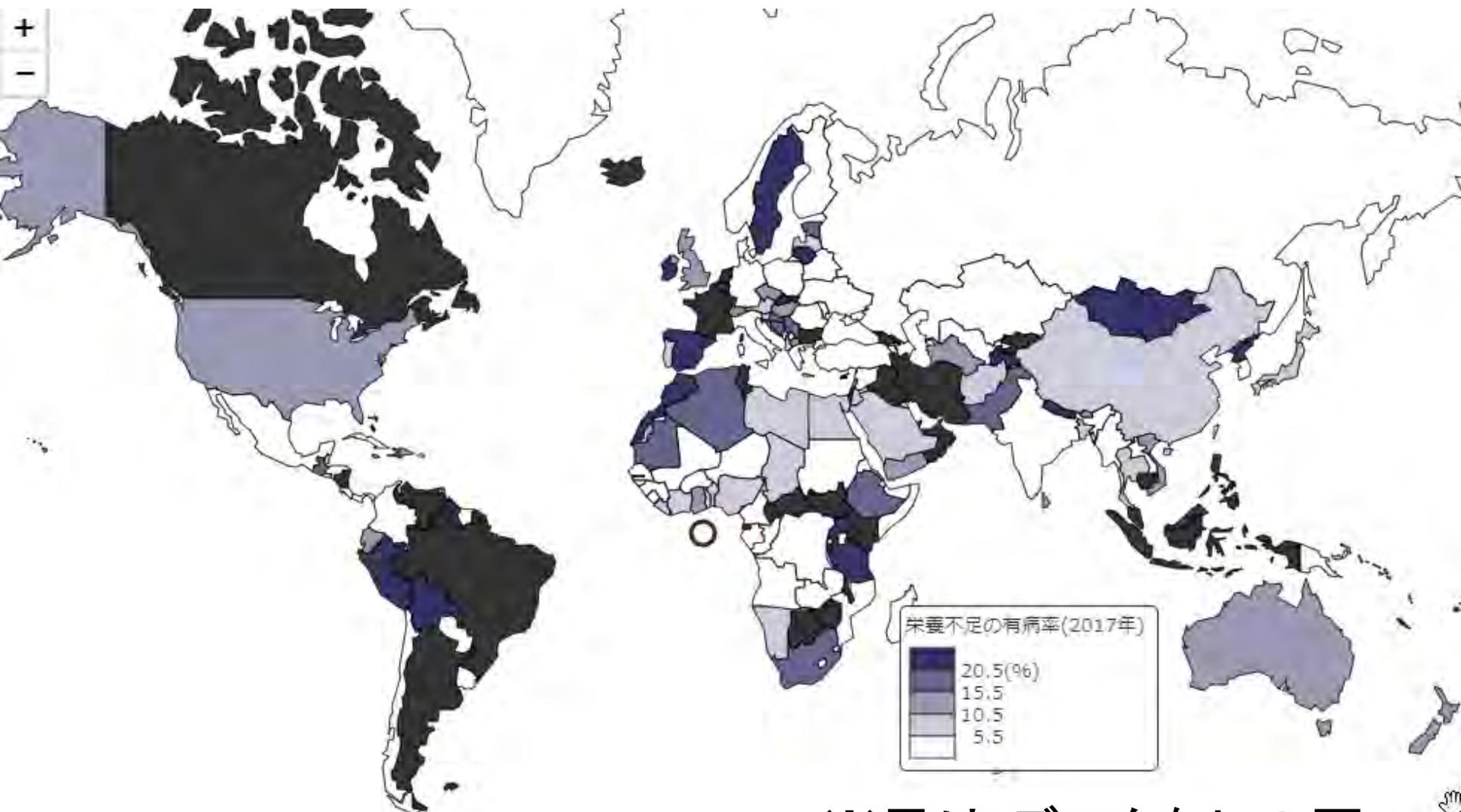
# 10万人あたりの結核罹患率(2018年)



# HIVの有病率(2018年)



# 栄養不良の有病率(2018年)



※黒は,データなしの国



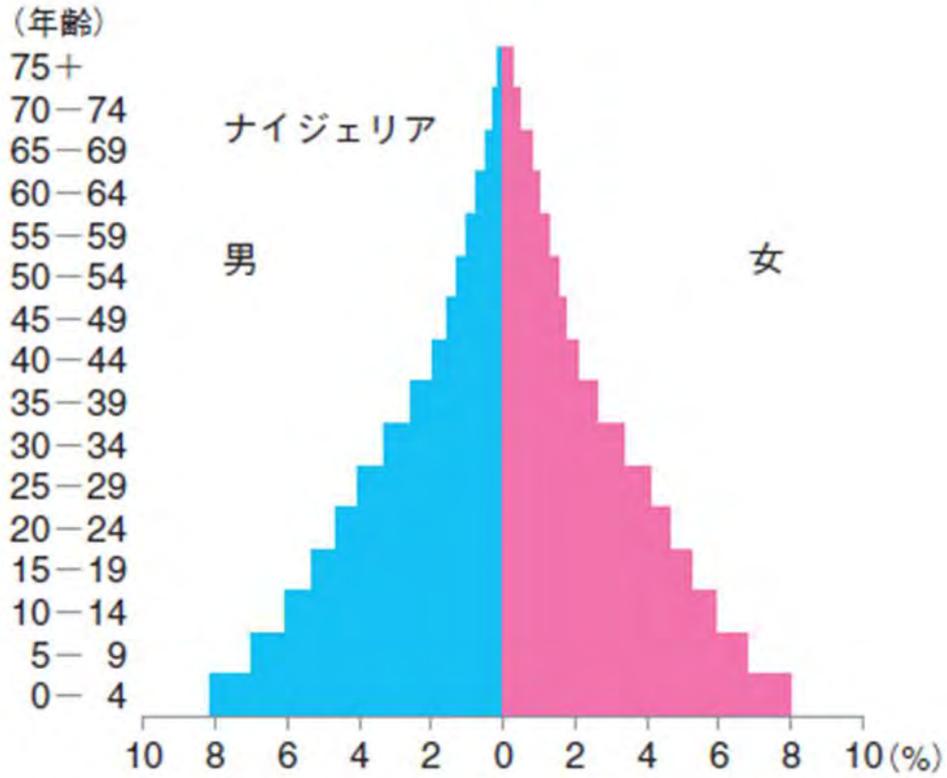
1分間に17人の人が  
飢餓で亡くなっている

[飢餓の現実 ⇒ 詳細はコチラ](#)



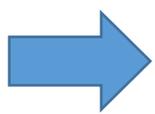
(2) **年少人口** 割合が極めて高い  
(とくに15~24歳の若者はほぼ2億が多い)

➡ 21世紀前半まで、食料、教育、医療などの **扶養負担** が増え、雇用機会創出の問題が続くと予想。



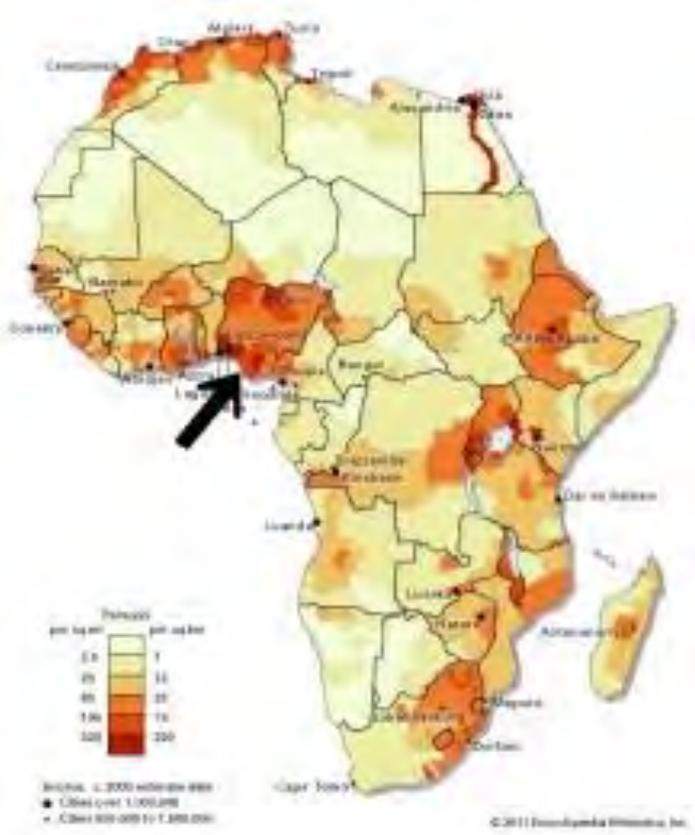
(出所) 第1表の国連データに基づき筆者作成。

# (3)人口が1億人を超える唯一の国で深刻な都市問題 **ナイジェリア**



旧首都・ラゴス が プライメイトシティ で

都市問題をかかえる。



## 5 人種・民族

### (1) 人種の特徴

- ①北アフリカ……白色人種( **コーカソイド** )の地域
- ②中南アフリカ……黒色人種( **ネグロイド** )の地域
  - [スーダンニグロ](赤道以北)
  - [バンツーニグロ](赤道以南)と言語系統で分ける場合もある
- ③マダガスカル… **マレー系** (海洋民族)が多い。船で移住。  
(モンゴロイドとネグロイドの混血が多い)
- ④エチオピア……コーカソイドとネグロイドの混血が多い

コーカソイド

スーダンニグロ

ネグロイド

バンツーニグロ

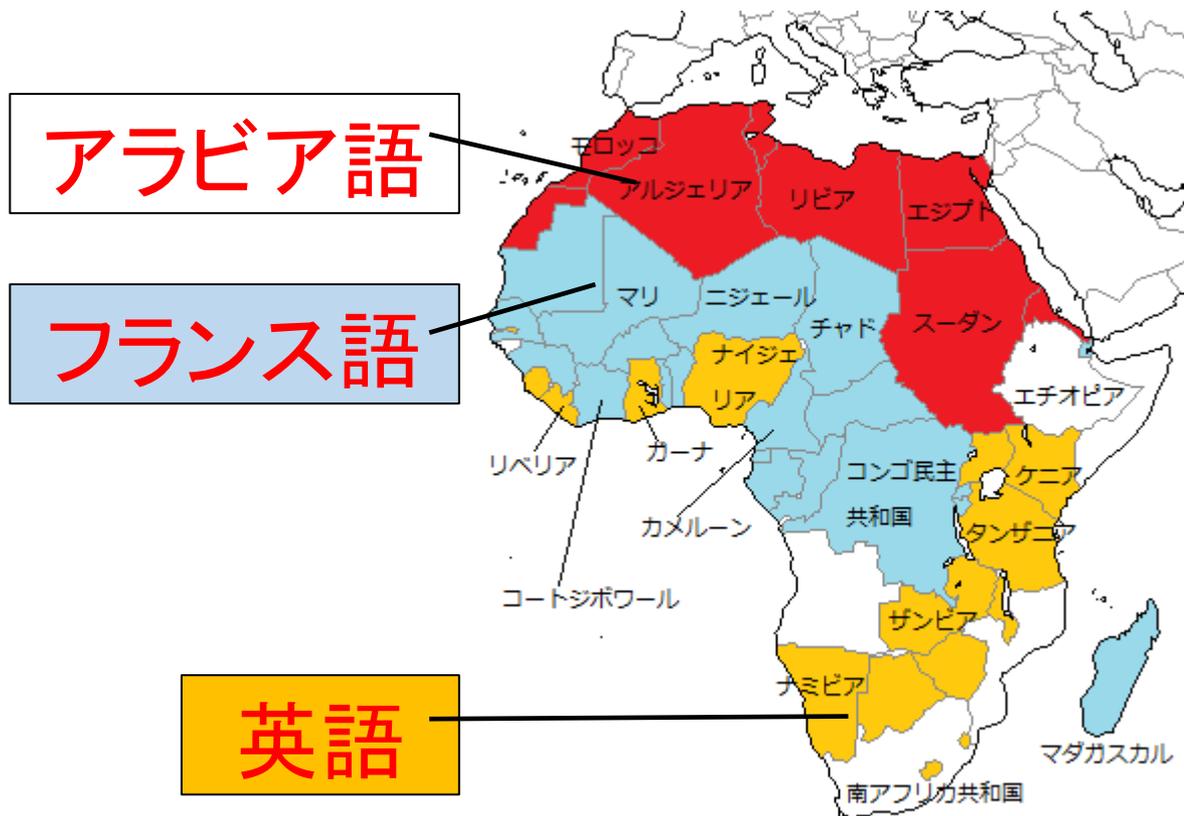
- Afro-Asiatic
- Nile-Saharan
- Niger-Congo A
- Niger-Congo B (Bantu)
- Khoi-San
- Austronesian

マレー系



## (2) アフリカ諸国の主な公用語

- ① アフリカ北部の主な公用語 [ **アラビア** ] 語
- ② アフリカ中部の主な公用語 **フランス** 語
- ③ アフリカ南部・ギニア湾の主な公用語 [ **英** ] 語



### (3)様々な民族紛争



#### ①エリトリア

:【 **キリスト** 】教徒(コプト教)の多いエチオピア  
に対し、イスラム教徒の多いエリトリアが独立戦争

➡ 1993年にエリトリアは独立

#### ②ソマリア: 1991年以来内戦や干ばつによる **無政府状態** 。

現在エチオピアの軍事支援を受けた暫定政権が首都を制圧したものの、依然として内戦状態が続く。



### ③ルワンダ

1994年,多数派の【フツ族】がかつての支配民族であった少数派の【ツチ族】を大量虐殺し,大量の難民も発生。



#### ④スーダン:【 **ダルフル** 】紛争

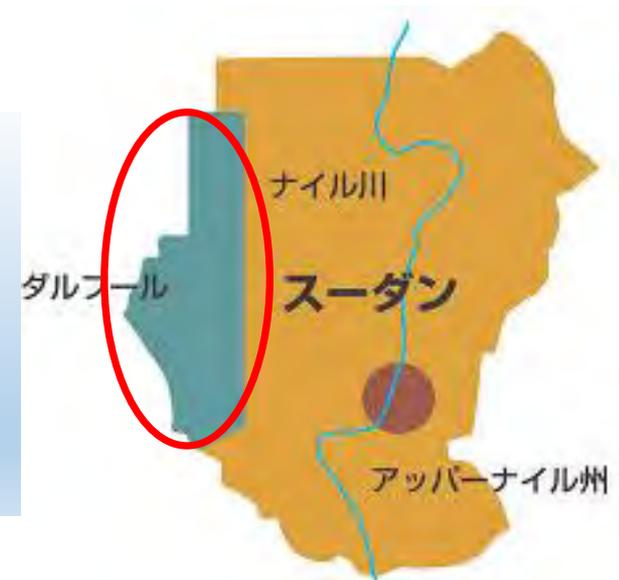
※スーダン西部

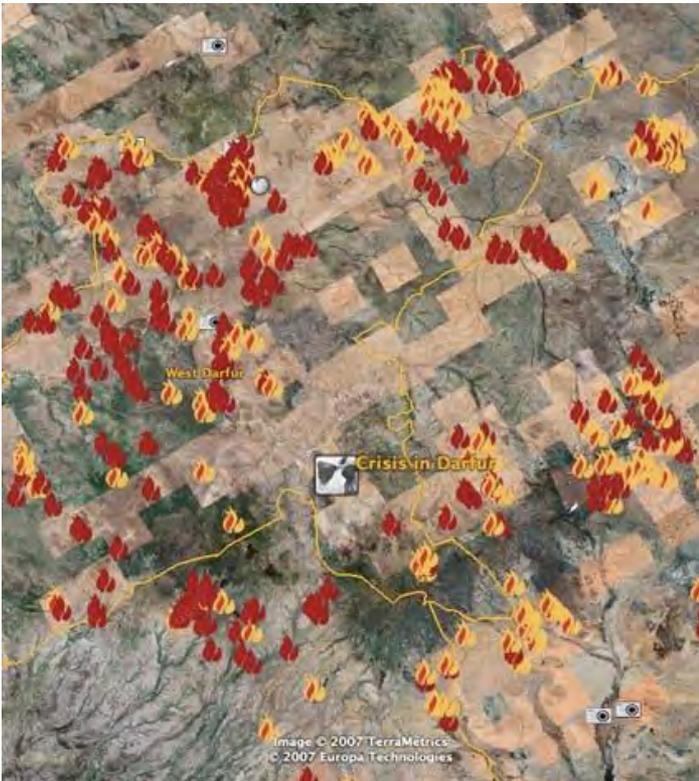
➡ 政府による少数民族浄化( **大量虐殺** )に世界から避難  
数十万人が死亡。ダルフルからチャド東部への避難を強  
いられた人の数は28万5000人、スーダン国内で避難生活を  
送る国内避難民の数は260万人

■ 2011年北部のアラブ系のスーダン政府から、南部の **黒人**が独  
立して「 **南スーダン** 」を建国。

#### ■ 現在のダルフル地方

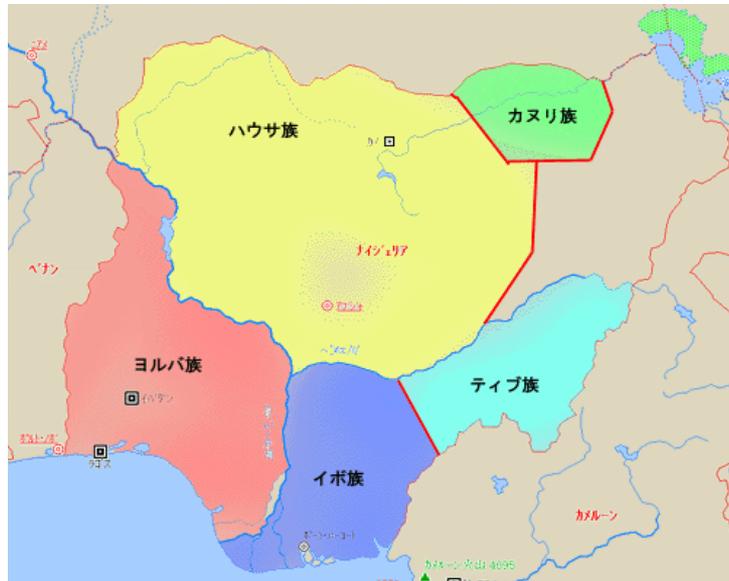
- ・黒人地域であるが独立はしていない。
- ・村の襲撃・略奪事件は後を絶たず、  
治安は一向に回復せず
- ・スーダン政府は、石油資源の欲しい中国  
から武器供与、支援を受け続けている。



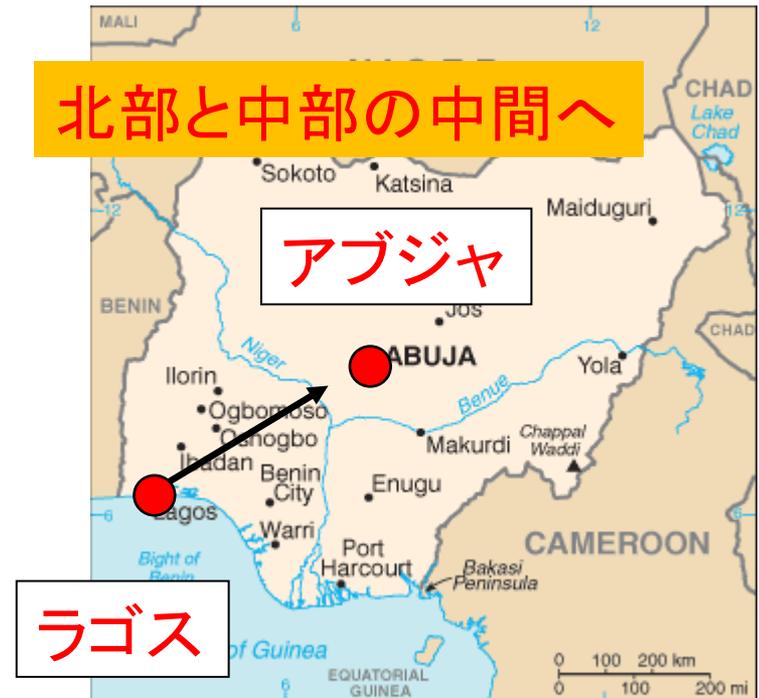


#### ④ ナイジェリア:【 **ビアフラ** 】戦争(1967~1970)

- 1960年イギリスから独立したあと,最も数の多かった **ハウサ** 族の支配をおそれた他部族によるイボ族(キリスト教徒,黒いユダヤ人)への襲撃事件が続発
- イボ族が **ビアフラ共和国** 建国を宣言(南東の油田地帯)
  - 政府による攻撃開始で内戦勃発
  - 200万人の死者,餓死者をだしビアフラ共和国崩壊



■ 1991年首都を【 **ラゴス** 】から【 **アブジャ** 】へ





**会談**

**ピアフラ崩壊**

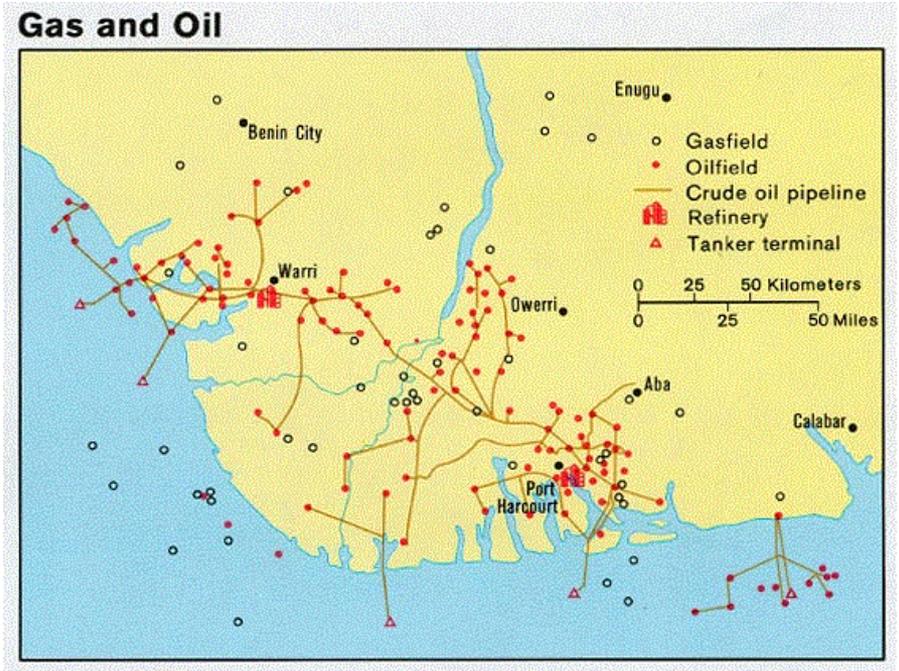
ナイジェリア政府軍、首都を占領

オジニク将軍、脱出

ナイジェリア軍は崩壊する

オジニク将軍の脱出

ナイジェリア政府軍は首都を占領し、オジニク将軍は脱出した。この写真は、戦況の激変を示している。



## ⑤西サハラ

スペインが植民地支配から撤退した後、実効支配をすすめる領有権を主張している **モロッコ** と、**サハラ・アラブ民主共和国**の独立を宣言したポリサリオ戦線との紛争。

日本は未承認



## (4) 南アフリカ共和国のアパルトヘイト政策

### ① 民族構成

黒人 約80% 白人約10% (アフリカーナ6: イギリス系4)  
カラード (混血) 約10% アジア系

### ② 公用語・・・バンツー諸語・アフリカーンス語・英語の11公用語



### ③人種隔離政策( **アパルトヘイト** 政策)

■1948年……【 **白人** 】系住民中心の政権が【 **黒人** 】  
の人種隔離法を制定

※【 **人種隔離四法** 】

(人口登録法,公共施設分離利用法,土地法,集団地域法)

■国際的に孤立の時代・冷戦下西側諸国とは,資源(**レアメタル**)  
を生かし強い結びつき

(日本人は名誉白人に…)

■1991年 【 **アパルトヘイト** 】を廃止(1991年ソ連崩壊が背景)

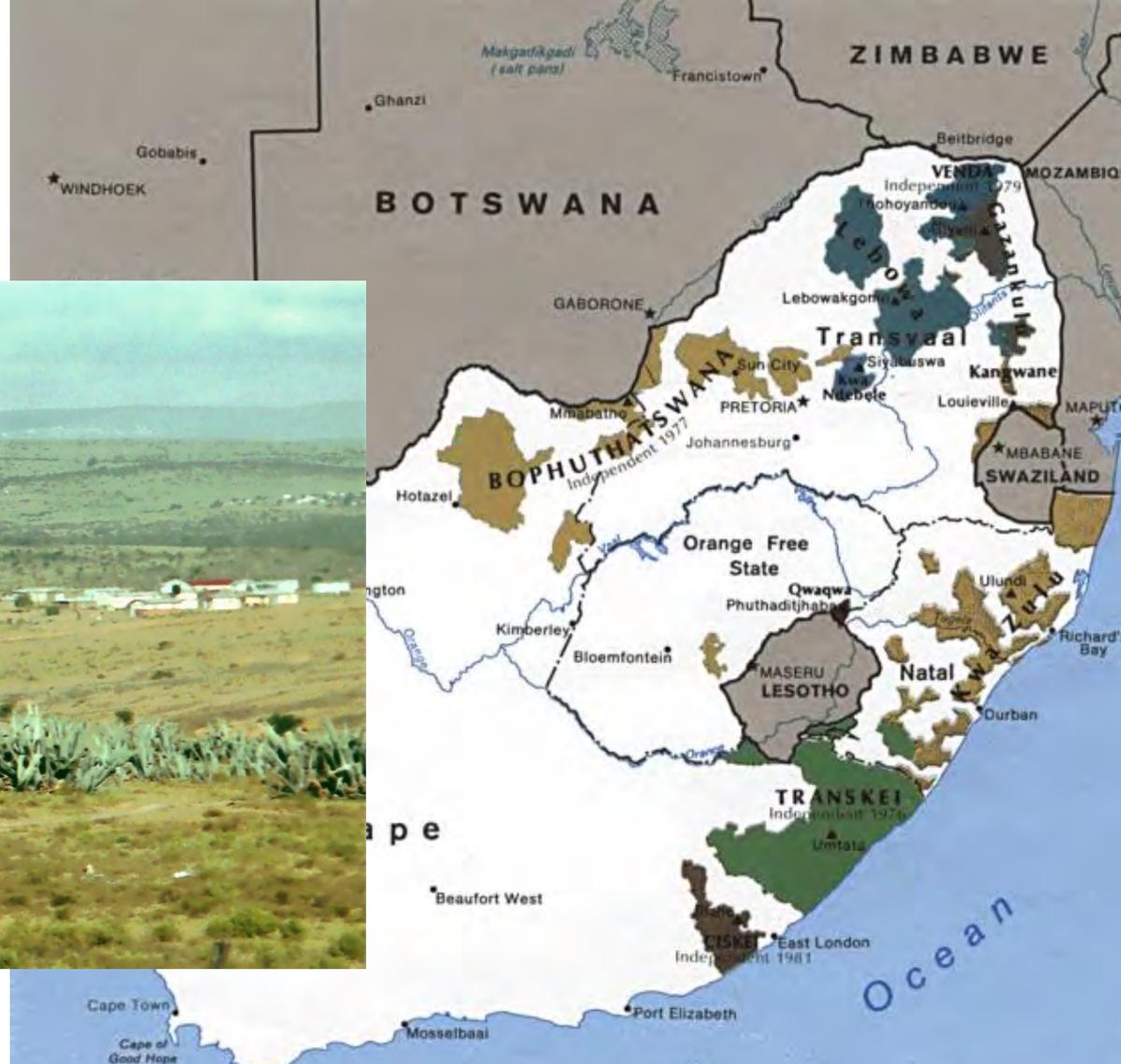
■1994年 全人種参加による選挙で【 **ネルソン=マンデラ** 】  
大統領就任

→AU(アフリカ連合)に加盟。国際連合に復帰

■2010年 サッカー**ワールドカップ** 開催

■現況 政治的平等の実現。黒人失業率は高く,経済面での格差  
は依然大きい。黒人の部族間の争いが表面化し,治安状  
態は決して良くはない。

# ホームランド10地区



目的は黒人を他国の国民として扱うことで、彼らから南ア市民権、参政権をなくし黒人を外国籍の出稼ぎ労働者として扱おうとするものであった。

## 6 歴史

### (1)ヨーロッパによる植民地支配

#### ①15c末からの植民支配,奴隷貿易の影響

- 人口の減少,独自社会の崩壊

- 民族分布と無関係な植民地支配

  - 独立後の国境も民族とは無関係

  - 内戦・経済格差の拡大

- ヨーロッパに依存する経済

  - 特定の商品作物の生産などに依存する

モノカルチャ 経済

## (2)ヨーロッパ列強による植民地分割

### ① イギリス 領

: 東アフリカ(エジプト・スーダン・ケニア・南アフリカ共和国など)・ナイジェリア・ガーナ

### ② フランス 領

: 西アフリカ(アルジェリア・モロッコなど)とマダガスカル

### ③ イタリア 領

: リビア・エリトリア・ソマリア

### ④ ベルギー 領 : コンゴ民主共和国など

### ⑤ スペイン 領 : 西サハラ

### ⑥ ポルトガル 領 : アンゴラ・モザンビークなど



### (3)独立年

#### ①第2次世界大戦終了時の主な独立国

【 **リベリア** と **エチオピア** 】,エジプト,南ア

■リベリア:アメリカ合衆国解放奴隷により建国した黒人の国

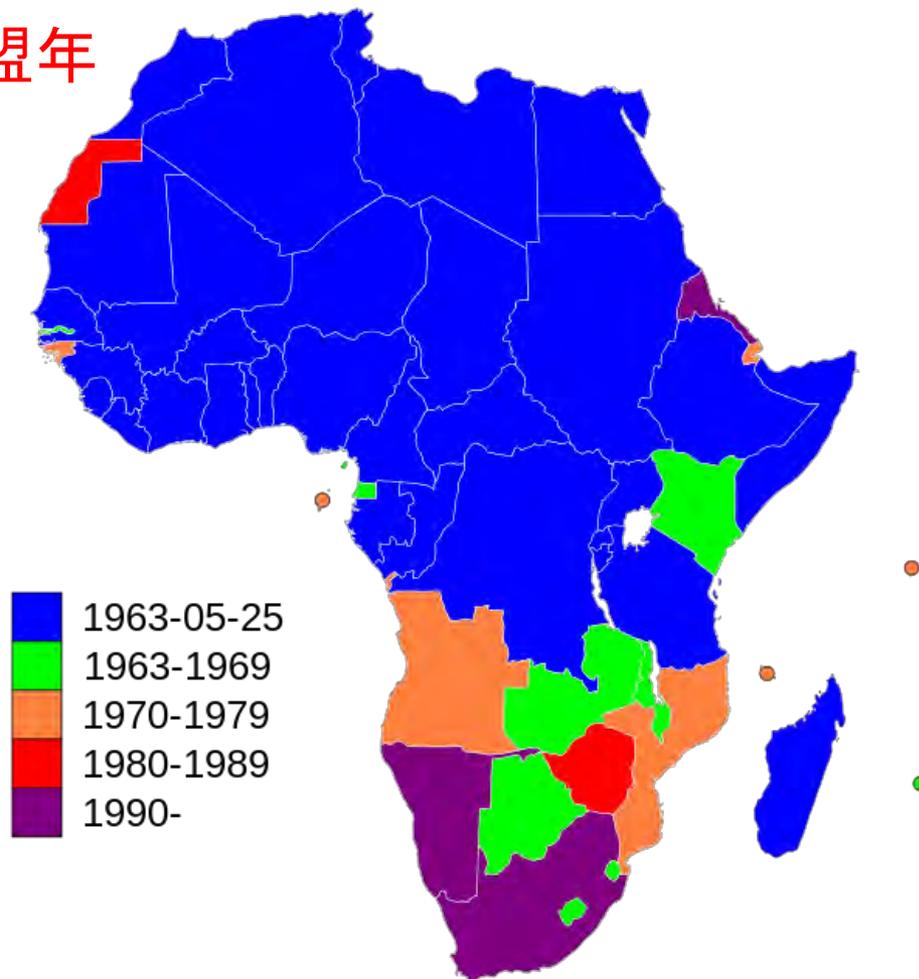
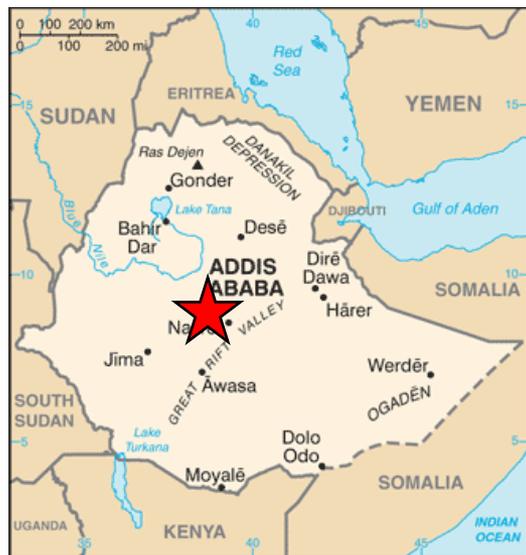
#### ②戦後の独立

- 1957年【 **ガーナ** 】独立(アフリカ初の黒人国家)
- 1960年「【 **アフリカの年** 】」と呼ばれ,17か国独立
- 1970年代【 **ポルトガル** 】領の独立
- 1993年【 **エリトリア** 】の独立
- 2011年【 **南スーダン** 】の独立

## (4)「一つの 아프리카」へ

①1963年 アフリカ統一機構(OAU)が30の独立国で設立

OAUの加盟年



■本部はエチオピアの首都【 **アジスアベバ** 】)

※ブラックアフリカの代表

■ 設立目的・・・国連憲章と世界人権宣言を尊重し,アフリカ諸国の統一と連帯を促進し,人民の生活向上のための相互協力・調整,国家の主権と領土を守り,独立の擁護,新植民地主義 (Neocolonialism) と闘うことが目的。

②2002年 OAUを改組してアフリカ連合(【 AU 】)が設立

■ 本部はOAUと同じアジスアベバ

■ 設立目的・・・政治,経済,教育,文化,科学,防衛など各分野で協力しながら EU型地域統合を目指す。平和維持軍あり。一国一票が原則の国連で,各加盟国が協調して1つの意見を発することで大きな発言力を持っている。

■加盟国

◇現在の加盟国 53カ国と1地域(西サハラ)

AU



## 7 農業

### (1)自給作物の栽培

※【**緑**】の革命は近年遅ればせながら実施

..... **ネリカ米**

病気・乾燥に強いアフリカ稲と高収量のアジア稲を交雑したアフリカ陸 稲の「新しい有望品種」の総称。



ネリカ米の開発者モンティ・ジョーンズ博士

# ①熱帯(コンゴ盆地からギニア湾岸にかけての地帯)

… 焼畑 農業

■ 主要な作物… **イモ** 類(主食)

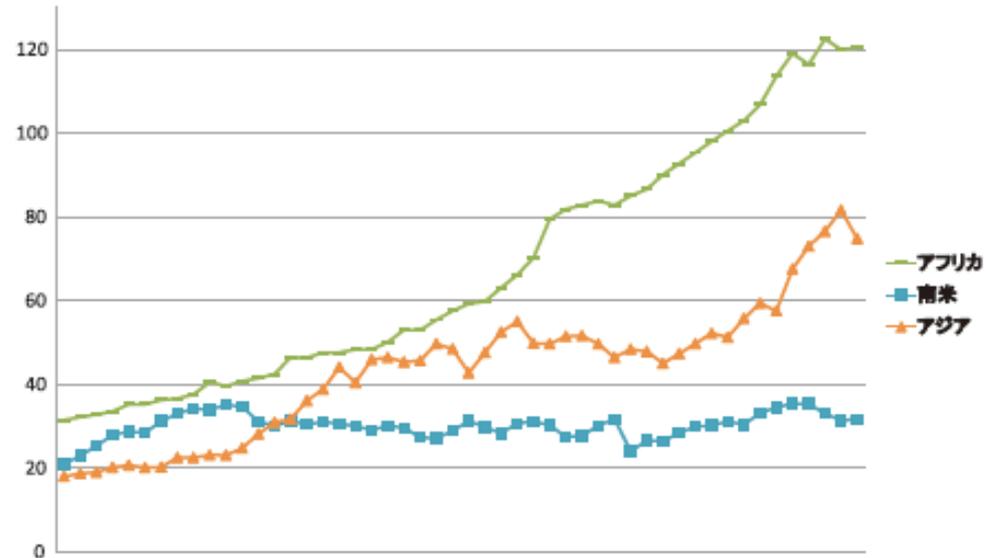
**ヤムイモ**(東南アジア原産)

**タロイモ**(東南アジア原産)

**キャッサバ**(南米原産)



→すべて【**ナイジェリア**】が生産1位 **キャッサバ生産量**



■ 問題点…人口爆発に対応するための休閑時期を短縮化した焼畑

→ **森林破壊**

## ②Aw・BS地域(サヘル地域)……遊牧と雑穀栽培

■遊牧……Awは牛、BSは羊,ヤギ,ラクダ

■主要な作物……ソルガム(もろこし)やミレット(きび・あわ・ひえ)などの雑穀(主食)

■サヘル地域→砂漠化が激しく,水の確保が困難



### ③BW地域・・・・・・・・・・オアシス農業

■【**ナツメヤシ**】の生産（「砂漠の主食」と呼ばれる）

■地下用水路の利用・・・アルジェリアでは【**フォガラ**】



## (2)商品作物の栽培

### ①プランテーション農業

・・・植民地時代に宗主国によりもたらされた。

#### ■セネガルの【 落花生 】(油の原料)

・・・サヘル地域では数少ない換金作物として栽培が盛ん



■コートジボアールとガーナの【 **カカオ** 】(南米原産)



## ■ケニア(【 **ホワイトハイランド** 】における)茶・コーヒー

茶とコーヒーがともに主要輸出品という国は珍しい



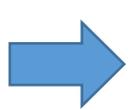
ケニアがイギリス植民地であったときの白人占有農牧地

■タンザニアやケニアの サイザル麻 (メキシコ原産)

リュウゼツランの仲間 ロープやダーツの的の材料  
生産量は、ブラジル(66.0%)以下タンザニア,ケニア,メキシコの順



■近年では、エチオピア（コーヒーの原産地でもある）・**ケニア**では、涼しい気候を利用して【 **バラ** 】などの花卉類の生産・輸出がさかん。



**ドバイ**  
送が実現

経由で日本へ(コールドチェーンにより輸



## ②オアシス農業

■エジプト・・・ナイル川流域 綿花

(1970年～の アスワンハイダム による灌漑農地で)

■スーダン・・・ナイル川流域 綿花

(1925年～の ゲジラ計画 による灌漑農地で)



### (3) 輸出用の商品作物栽培奨励

■主食の 穀物生産 軽視 → 食料援助

■特定の農産物(資源も)に輸出を依存する【モノカルチャ】経済の国が多い。

## 8 鉱工業

### (1)資源分布

資源の分布が偏り,輸出のできる国とできない国との格差  
が大きい

 南南問題

### (2)主な資源産出国

#### ①原油

OPEC諸国

リビア アルジェリア (OPECも)

ナイジェリア アンゴラ( 中国へ )

非OPEC諸国

スーダン( 中国 との関係が密)

ガボン(1995年OPEC脱退)

## ②天然ガス

アルジェリア (パイプラインなどで欧州へ)

## ③石炭

南アフリカ共和国 (古期造山帯)  
(ドラケンスバーグ山脈)

## ④ウラン

ニジェール (旧仏領) ナミビア

## ⑤鉄鉱石

リベリア (ニンバ鉄山)



# ⑥ダイヤモンド

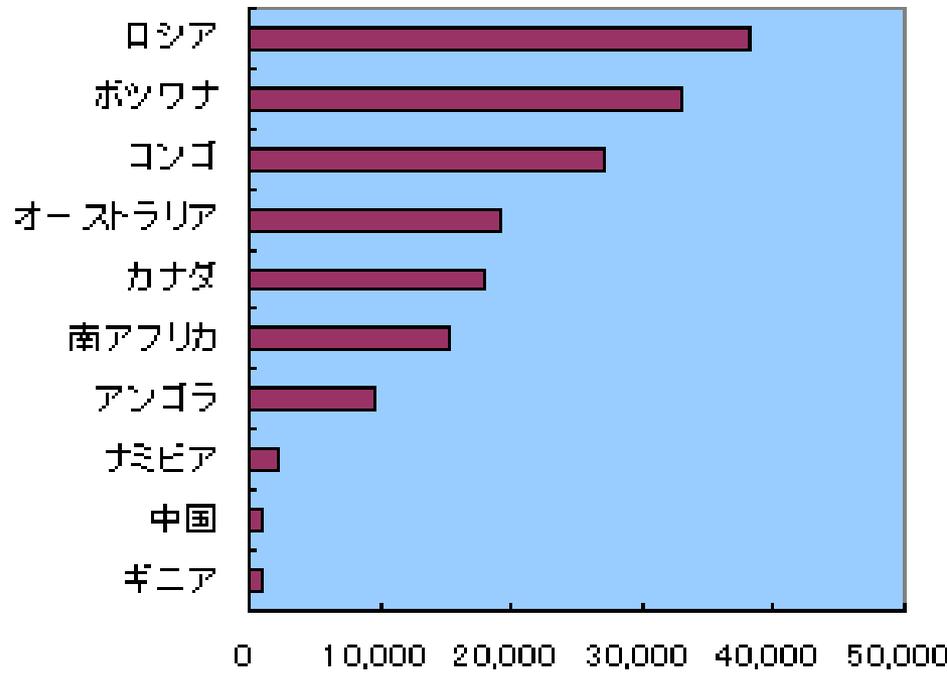
ボツワナ

コンゴ民主共和国

南アフリカ共和国

アンゴラ ナミビア

ダイヤモンド生産量  
(000 carats)



# ⑦ボーキサイト

ギニア

# ⑧金

南アフリカ共和国      ガーナ

金の産出量の多い国

順位	国名	産出量(kg)
1	中華人民共和国(中国)	40万3,000
2	オーストラリア	25万
3	アメリカ合衆国(米国)	23万5,000
4	ロシア	21万8,000
5	ペルー	16万1,000
6	南アフリカ共和国	16万
7	カナダ	10万4,000
8	メキシコ	9万7,000
9	ウズベキスタン	9万3,000
10	ガーナ	8万7,000

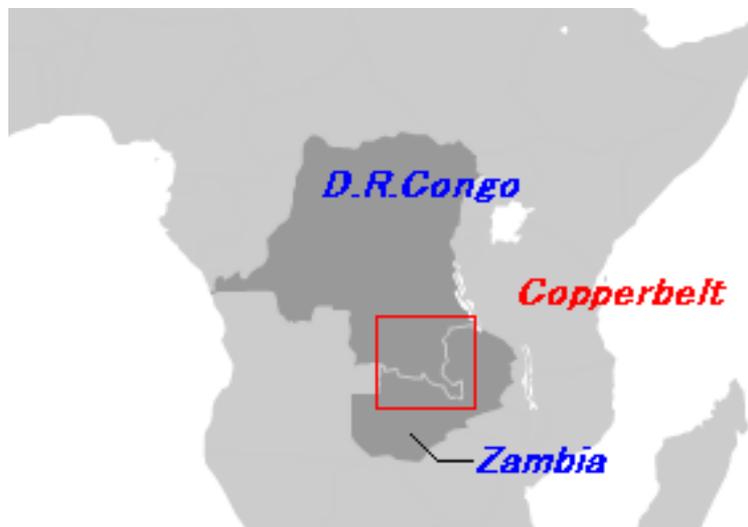


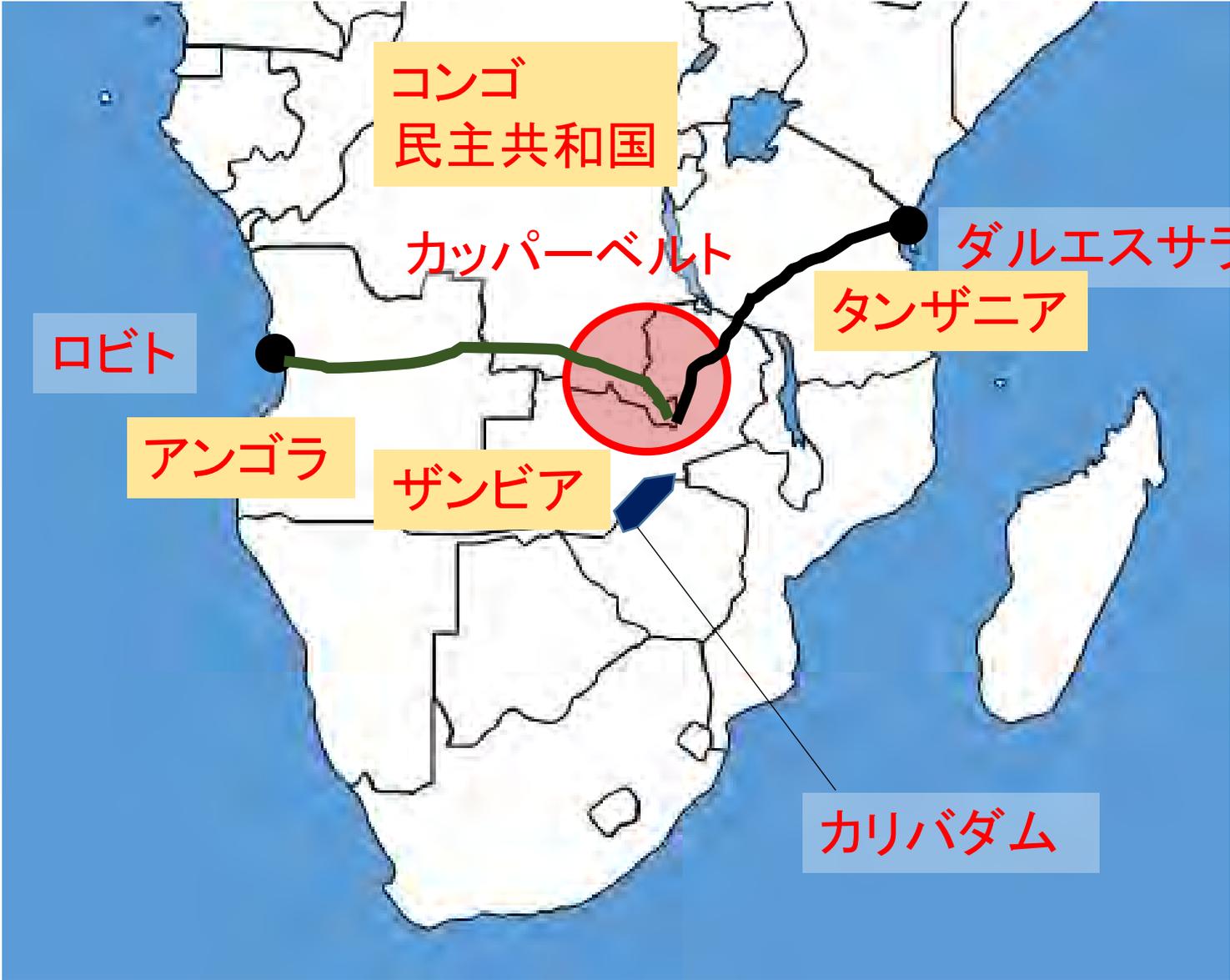
## ⑨銅

コンゴ民主共和国からザンビアにかけて( **カッパーベルト** )

■精錬の電力・・・ カリバダム より

■輸送・・・ザンビアからは タンザン 鉄道(積出港**ダルエスサラーム**)  
コンゴ民主からは ベンゲラ 鉄道(積出港**ロビト**)を使用。  
※アフリカ唯一の横断鉄道(中国主導で建設)





コンゴ  
民主共和国

カッパーベルト

ダルエスサラーム

タンザニア

ロビト

アンゴラ

ザンビア

カリバダム

## ⑩白金やクロムなどレアメタル

### 南アフリカ共和国

#### 白金



装飾品、触媒として自動車の排気ガスの  
浄化をはじめ多方面で使用

#### クロム



メッキ、ステンレスの製造に使う

## 9 工業

### (1)おくれた工業化

■植民地時代・・・インフラ(鉄道・港湾・電力供給)の未整備

➡ 先進工業国の 市場 であった

■独立後・・・政治的不安定,金融制度未発達,低い就学率による 労働力不足 .

➡ 工業発展の遅れ

## (2)資源(農産物・鉱産資源)に依存した工業

### ①北アフリカ(サハラ以北 ホワイトアフリカ)

■石油産出国(OPEC加盟国)の【**アルジェリア** と **リビア**】の  
石油精製業

■上記以外の【**チュニジア** と **モロッコ**】  
では、ヨーロッパに近いことと安価な労働力という利点を生  
かし、【**繊維**】・皮革・食品などの軽工業がさかん。



## ②中南アフリカ(サハラ以南 ブラックアフリカ)

### ■南アフリカ共和国以外の国

→資源に依存した工業がみられる程度

- ・ナイジェリアの**石油化学工業**
- ・ガーナの【**アルミニウム**】工業  
(ボーキサイトと【**アコソンボダム**】の電力の結合)
- ・ザンビアの【**カリバダム**】の電力を生かした  
【**銅**】の精錬業



## ■南アフリカ共和国(アフリカ最大の工業国)

特に,アパルトヘイト廃止による経済制裁解除後産業全体の発展が著しい

(豊富な資源をもとに) 鉄鋼業・機械工業・自動車工業 の発達

➡ 近隣諸国から 出稼ぎ労働者 が多く流入してくる。

## 10 貿易

南ア共和国以外は、農産物や鉱産物などの一次産品を輸出し、工業製品を輸入する貿易構造の国が多い。

### (1)サハラ以北の北アフリカ諸国

#### ①アルジェリア・リビア

…【OPEC】・【OAPEC】加盟国で石油のモノカルチャー先進国の需要が多いため、国の経済が潤うが富が等しく分配されているかは別。

➡ リビアのほうが一人当たりGNIが多い

#### ②モロッコ・チュニジア

石油はあまりとれないが、衣類や電気機械などの輸出指向型工業が発達

➡ 衣類、電気機械の輸出が多い

## (2)サハラ以南の中南アフリカ諸国

①1人あたりGNIが 1000 ドル未満の経済的に貧しい国が多い。

②コートジボアールとガーナ

・・・ともに カカオ豆 が輸出品の1/4だが、コートジボアールは石油製品、ガーナは 金 の輸出が多い

# 11 ナイル川流域の環境問題

## ■ 白ナイル

- …ブルンジ付近が源流(長いので土が混じって灰色に見える)
- スーダンのスッド(大湿原がある)で、かなり蒸発し水量が少ない

## ■ 青ナイル

- …タナ湖が源流(水が澄んでいて青く見える)
- 下流地域の 洪水 の原因

➡ スーダンの首都・ ハルツーム で合流



## ■ナイル川の恵み

:毎年決まった時期の氾濫(洪水)で, 肥沃な土壌 が供給



アフリカ最大の 穀物 生産国  
(米,小麦など,綿花も栽培盛ん)



古代ギリシャの歴史家ヘロドトス

「エジプト文明は【 **ナイルのたまもの** 】」

## ■ソ連の援助で アスワンハイダム の建設(1970年完成)

:洪水防止,灌漑農地の増大,工業用の電力確保が目的

### (3)ダム開発の問題

①洪水がなくなることで 肥沃な土壌 の供給がなくなる  
→ 購入肥料が必要になる

②ダム湖の水で灌漑された砂漠気候の農地での  
塩害 の発生

③河川によるナイルデルタへの土砂の供給減少  
→ 海岸線 の侵食

④河川よる海への栄養塩類(有機物)の供給減少  
→ 海での 漁獲量が減少